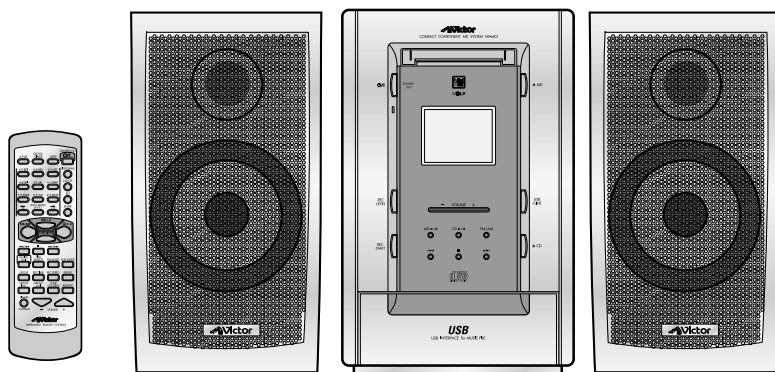
取扱説明書

コンパクトコンポーネントMDシステム

型名 NX-MD1

省エネ回路により電源「切」時（待機時）
消費電力１W

—お買い上げありがとうございます—

⚠ **ご使用の前に**

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 4 ～ 7 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0741-001C

目　次

はじめに　ページ

準備　ページ

基本操作　ページ

ラジオを聞く　ページ

CDを聞く　ページ

MDを聞く　ページ

他の機器の音声を聞く　ページ

録音する ページ

MD を編集する ページ

オートパワーオフ ページ

タイマーを使う ページ

知っておいてほしいこと ページ

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

• この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

• この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

• 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

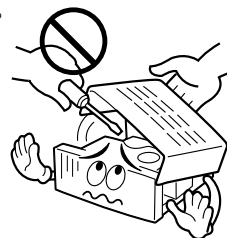
• 内部に水や異物が入ってしまったとき
• 落としたり、破損したとき
• 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

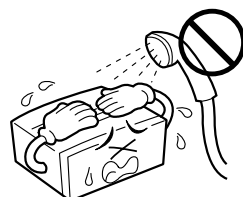
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

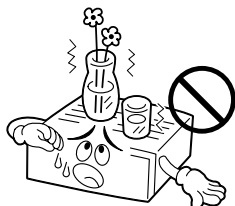
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

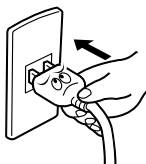
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

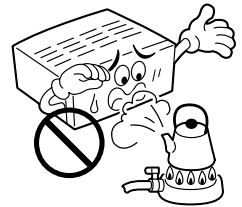
⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

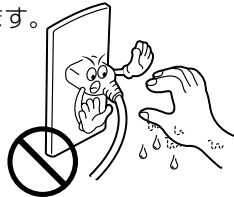
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

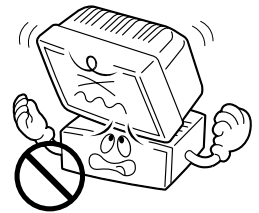
置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

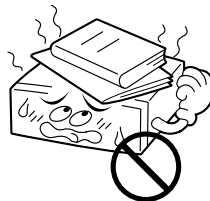
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

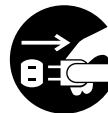
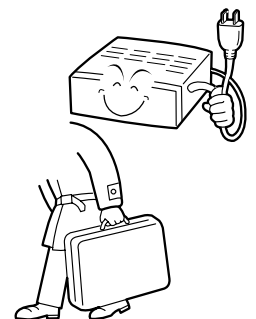
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 専用のラック以外の本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10㎝以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

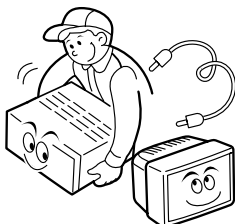
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

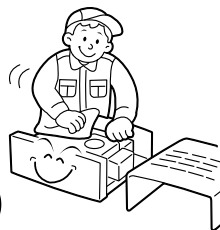
ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう

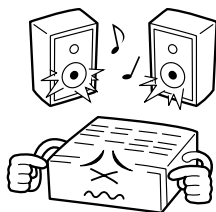
移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

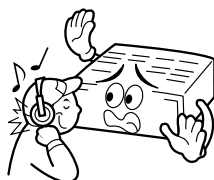
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

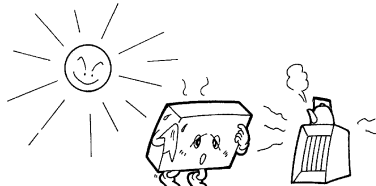
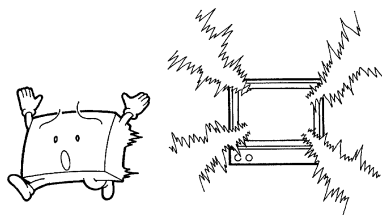
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

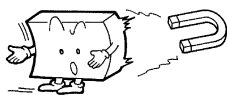
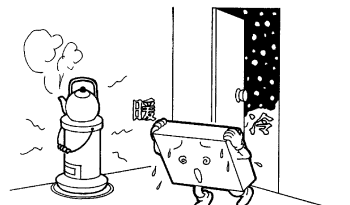
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ご使用になる前に

本機やCD、MDの置き場所について

- 故障などを防止するため次の場所は避けてください。
  使用環境温度は、5℃〜35℃です。 5℃〜35℃の範囲外の温度でご使用になると、正しく動作しない、または故障の原因になることがあります。

・湿気やほこりの多い所

・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所

・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば

・寒い所から急に暖かい部屋へ
移動したのちしばらくの間

ヘッドホンについて

- ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

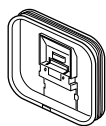
露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いて**CD**や**MD**が正しく演奏できない場合があります。

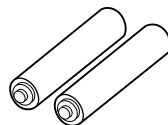
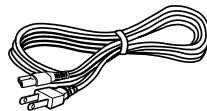
- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1〜2時間待ってからお使いください。

付属品

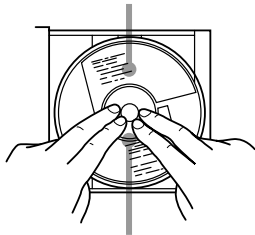
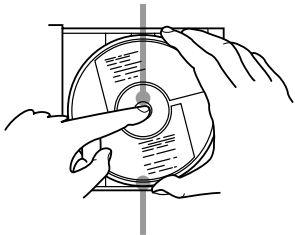
お使いになる前に付属品をお確かめください。

AM ループアンテナ
（1個）

FM 簡易型アンテナ
（1本）

リモコン
（RM-SNXMD1）
（1個）

単３形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード
（1本）

CDの取り扱いかた

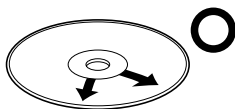
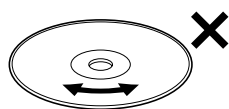
・ケースからの出し入れ

① センターホルダーを押さえ　① 文字のある面を上にして…

② 演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。　② 上から押さえて入れる。

- CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

- 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っている CD をお使いください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

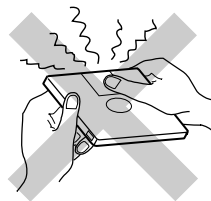
CD のお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDの取り扱いかた

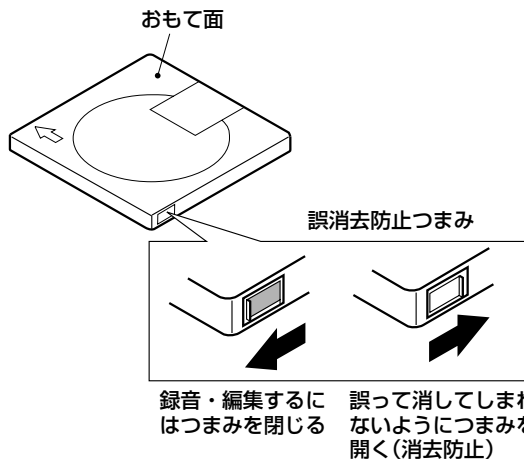
シャッターは開けないで

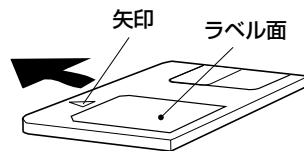
シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をし直すことができなくなります。録音や編集をし直すときは、閉じた状態に戻してください。

録音・編集するにはつまみを閉じる　誤って消してしまわないようにつまみを開く（消去防止）

<お知らせ>

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。
  間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

各部の名称 —□内の数字のページに説明があります。—

本　体

MD挿入口 30

⏻/|(電源「入」／「切」) 15

スタンバイランプ 15

VOLUME＋、－とランプ 19 46

REC LEVEL 46

REC START 45

▲ MD (取り出し) 31

表示窓(ディスプレイ)

USB/LINE 40 42

▲ CD (CDトレイの開／閉) 24

操作ボタン

- MD▶/II (MDの演奏／一時停止) 30
- CD▶/II (CDの演奏／一時停止) 24
- FM/AM 21
- |◀◀ (前サーチ) 21 25 31
- ■ (停止)、プリセットチューニング 23 25 31
- ▶▶| (次サーチ) 21 25 31

CDトレイ 24

USB* AUDIO端子 40

PHONES 端子
ミニプラグ付きのヘッドホンを接続します。スピーカーの音は出なくなります。

* USBはUniversal Serial Busの略です。

ドア

開きかた

① ドアの下部を押す

押す

② クリック感のあるところまでドアを開き、指を離す

閉じかた

カチッ

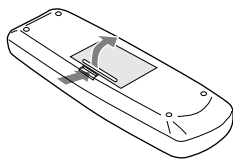
表示窓(ディスプレイ)

リモコン(RM-SNXMD1)

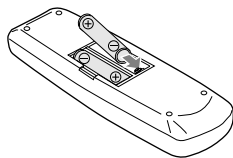
- CLOCK/TIMER 16 88 90
- A. P. off 85
- 数字キー(1～10、0、+10)
  - ・ラジオ 23
  - ・CD 25
  - ・MD 31
  - ・タイトル入力時 39 56
- MD ▶/❚❚ 30
- FM/AM 21
- ⏮/◀◀、▶▶/⏭
  - ・ラジオ 21
  - ・CD 25
  - ・MD 31
  - ・時計 16
  - ・ソース(音源)名を変える 43
- ■(停止) 25 31
- MD TITLE/EDIT 56 62
- TITLE SEARCH 38
- GROUP 45 54
- REC TIME 44
- GROUP I<<、>>I 33 57
- DIMMER 17 CONTRAST 18
- SLEEP 87
- ⏻/I(電源「入」/「切」) 15
- DISP./CHARA 21 25 31 39 42 58
- CANCEL 16 27 35 59
- SET 16
- ENTER 39
- CD ▶/❚❚ 24
- USB/LINE 40 42 43
- PLAY MODE 26 28 33 34 36
- FM MODE 21
- REPEAT 29 37
- REC SPEED 48
- AHB PRO 19
- TONE CONTROL 20
- VOLUME+、− 19 20

リモコンに乾電池を入れる

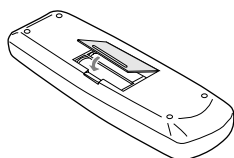
付属の乾電池を入れます。

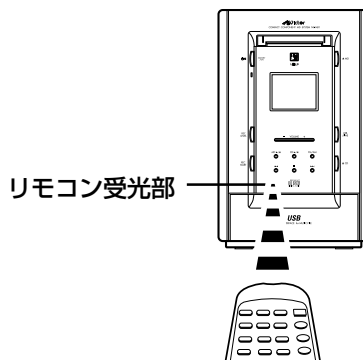
1 裏ブタをはずす

2 乾電池を入れる

単3形乾電池2本を入れます。

リモコン内部の表示に合わせて、極性(+、−)を正しく入れます。

- 付属の電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。

3 裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

リモコンの操作

リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作します。斜めから使用したり、リモコン受光部との間に障害物等があると信号が届かない場合があります。

- 操作範囲が狭くなってきたり、本体に近づけないと操作できなくなってきたときは、乾電池を交換してください。交換の際は、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- 長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 指定以外の電池(充電式電池など)は使用しないでください。

アンテナの接続

付属のアンテナ（屋内アンテナ）の接続

ラジオを聞くためにアンテナを接続します。

FM 簡易型アンテナ
放送局を受信して最も受信状態の良い位置に「ピーン」と伸ばし、テープなどで固定します。

中央のピン部に差し込みます。

AM ループアンテナ

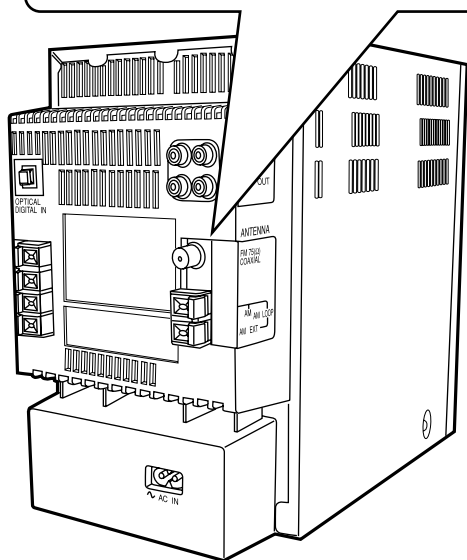
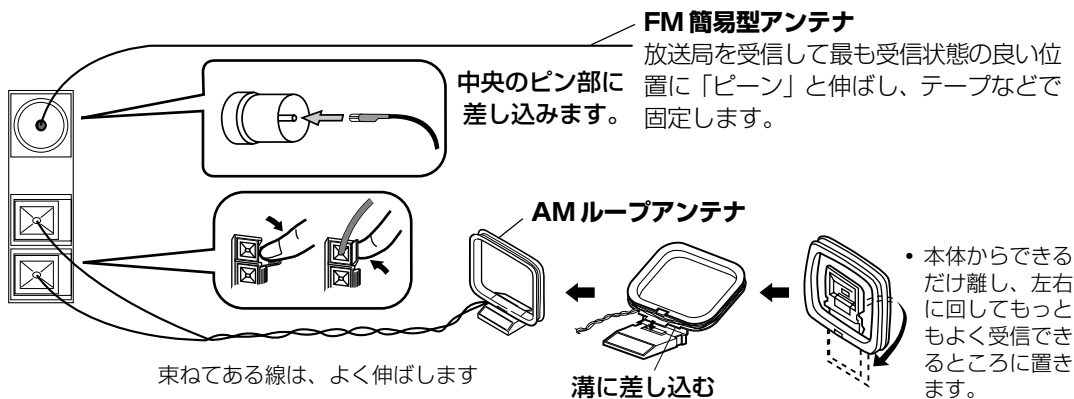
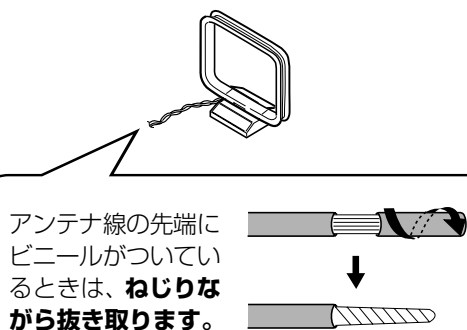
• 本体からできるだけ離し、左右に回してもっともよく受信できるところに置きます。

束ねてある線は、よく伸ばします

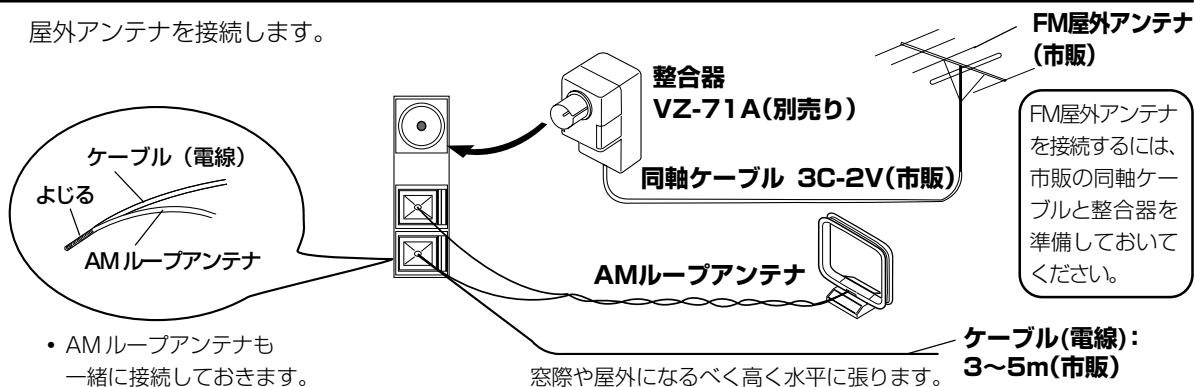
溝に差し込む

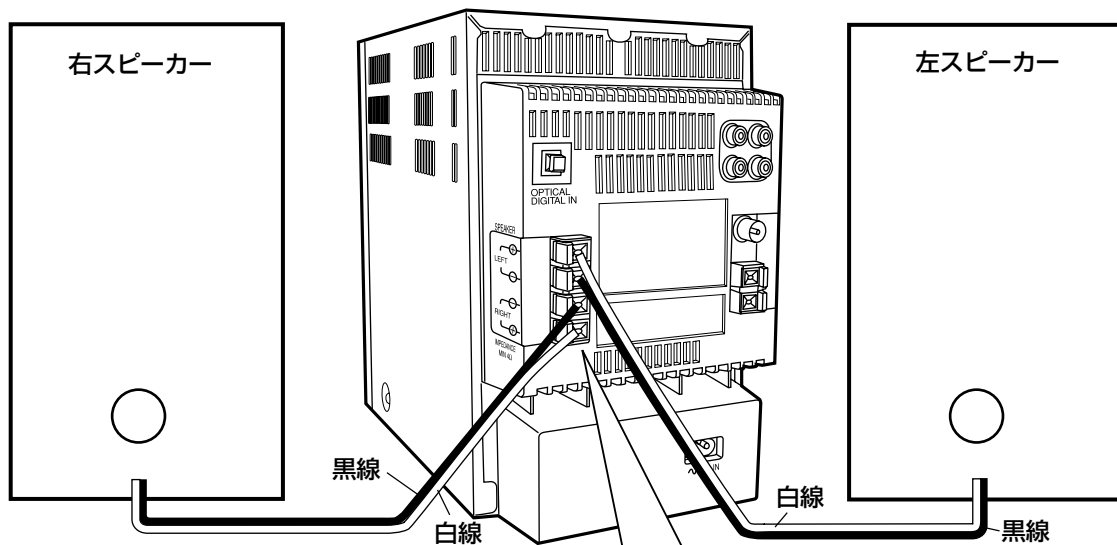
OPTICAL DIGITAL IN
OUT
ANTENNA
FM 75Ω COAXIAL
AM LOOP
AM EXT
～ AC IN

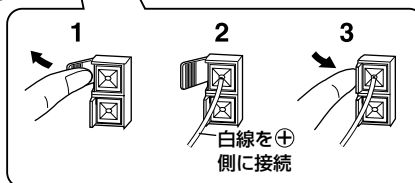
AM ループアンテナについて

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

<お知らせ>
• AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

• 付属のアンテナでうまく受信できないとき
• マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

屋外アンテナを接続します。

• AM ループアンテナも一緒に接続しておきます。

スピーカーの接続

適合インピーダンス：
4Ω～16Ω

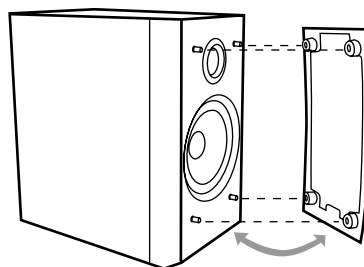
- スピーカー背面から出ているスピーカーコードを、本機のスピーカー端子に接続します。
- 正面向かって右スピーカーをRIGHT端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーをLEFT端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます（左右の区別はありません）。
- スピーカーコードの黒線を「⊖」側に、白線を「⊕」側に接続してください。

ご注意

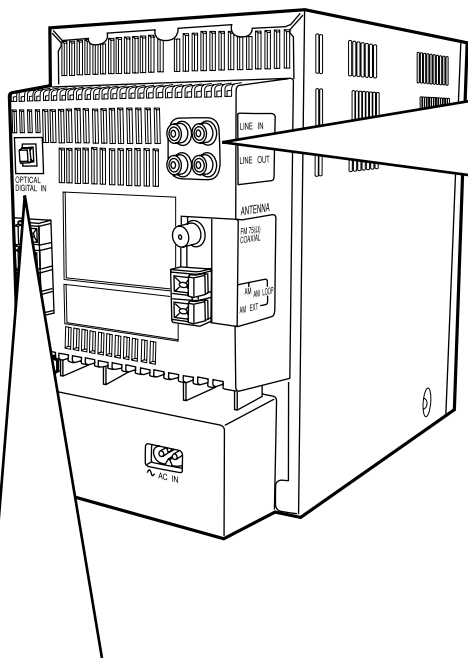
- スピーカーコードの白線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビの近くに設置すると、色ムラを生じることがあります。テレビとは十分離して設置してください。

設置上のご注意

本機は、省スペースでハイパワーを実現するため冷却用ファンが搭載されています。大音量動作や連続動作などで内部の温度が上がったときには、冷却のため内部のファンが動作します。十分な冷却効果を得るために、本体両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm 以上間隔をあけてください。

スピーカーネットの外しかた

本機のスピーカーネットは、外すことができます。

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

他の機器の接続（背面部での接続）

アナログ機器を接続する

カセットデッキは、LINE IN端子とLINE OUT端子に接続します。

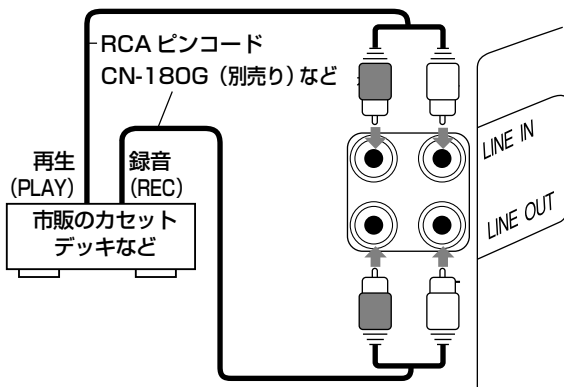
RCA ピンコード
CN-180G（別売り）など

再生
(PLAY)

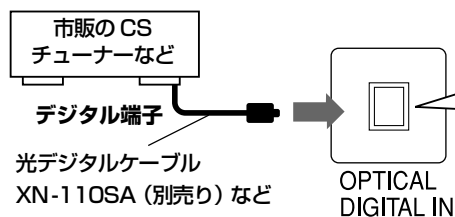
録音
(REC)

市販のカセット
デッキなど

LINE IN

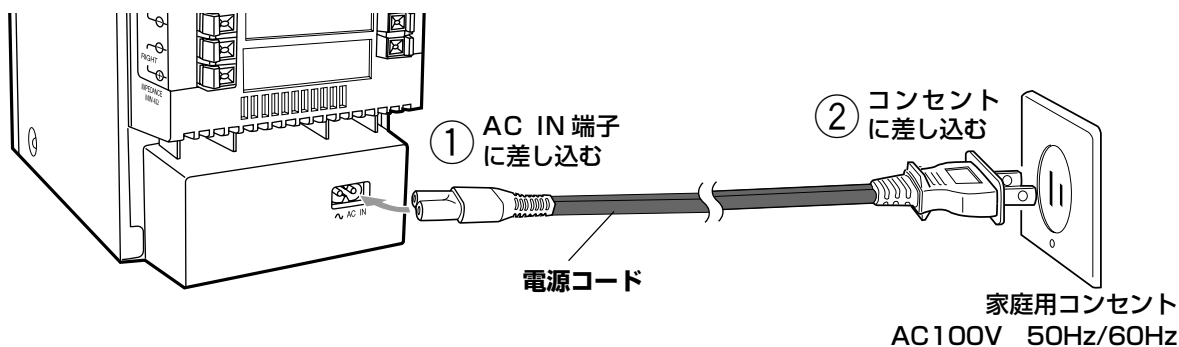
LINE OUT

• 別売りのレコードプレーヤー（AL-E350＋AC-S100J）を接続するときは、LINE IN 端子を使います。

デジタル機器を接続する

デジタル機器を接続するときは、OPTICAL DIGITAL IN端子に接続します。

OPTICAL DIGITAL IN端子を使うときは、保護キャップをはずします。保護キャップは大切に保存しておいてください。OPTICAL DIGITAL IN端子を使わないときは、保護キャップをつけておきます。

• OPTICAL DIGITAL IN 端子は PCM 音声に対応しています。BS デジタル放送などの AAC 音声には対応していません。

電源コードの接続

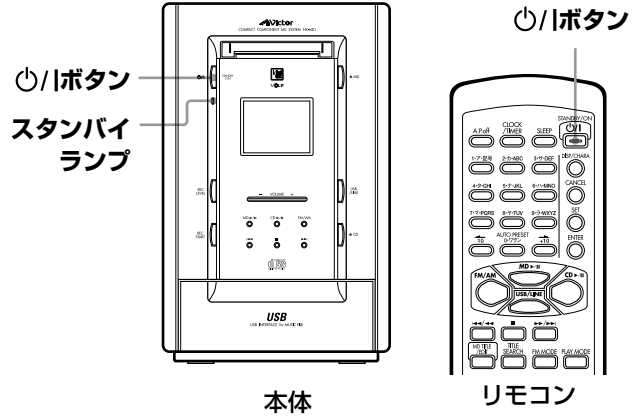
すべての接続が終わったら付属の電源コードを家庭用コンセント（AC 100V、50Hz/60Hz）に差し込みます。

電源「入」／「切」について

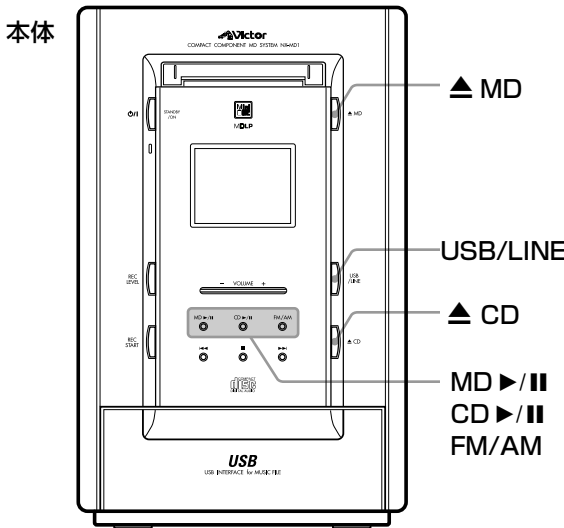
電源を「入」にする

⏻/I ボタンを押します。スタンバイランプが消灯し、「HELLO（ハロー）」が表示されます。

電源を「切」にする

⏻/I ボタンを押します。スタンバイランプが点灯に変わり、「SEE YOU（シー ユー）」が表示されます。

• 時計表示を点灯に設定（➡ 17 ページ参照）しているときは、時計が表示されます。

イチ押しボタンを使う

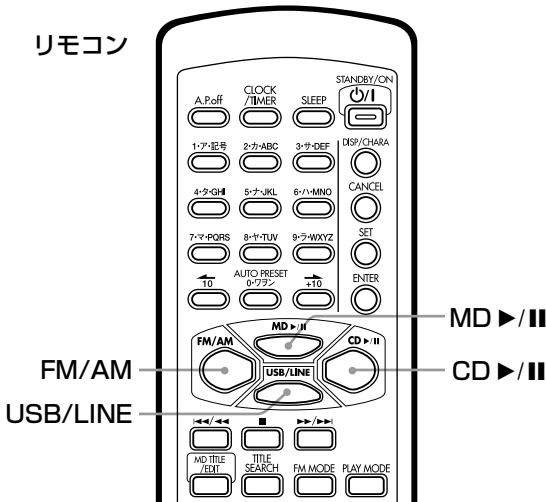
次のボタンを押しても電源を「入」にすることができます。

▲ MD（本体）
MD が入っているときは、MD が取り出せます。

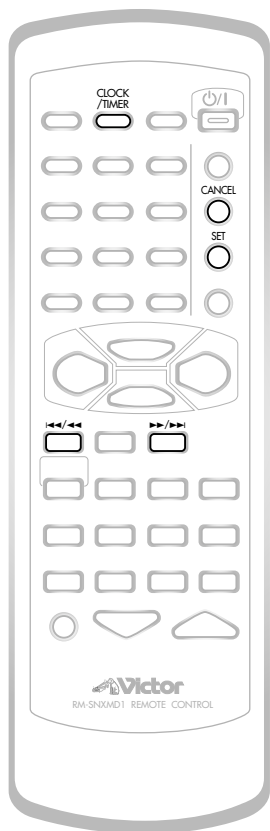
USB/LINE（本体・リモコン）
ソース（音源）が接続した機器のいずれかになります（前回聞いていたソース）。

▲ CD（本体）
CD トレイが出てきます。

MD ▶/II（本体・リモコン）
ソース（音源）が MD になり、MD が入っているときは演奏が始まります。

CD ▶/II（本体・リモコン）
ソース（音源）が CD になり、CD が入っているときは演奏が始まります。

FM/AM（本体・リモコン）
ソース（音源）が FM または AM 放送のいずれかになり、前回聞いていた放送局が受信できます。

時計を合わせる

本機には24時間表示の時計機能がついています。本機の操作をする前に、時計を現在時刻に正しく合わせてください。時計を合わせていないと、タイマー機能（➡ 87 ～ 91 参照ページ）を使うことはできません。

例：15時20分（午後3時20分）に合わせるとき

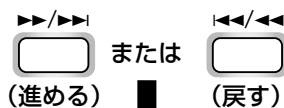
1 CLOCK/TIMERを押す

「時」表示（お買い上げ時は0）が点滅します。

0:00
OK?→SET

2 時刻を設定する

① **▶▶/▶▶|または|◀◀/◀◀を押して「時」を合わせてからSETを押す**

「分」表示が点滅

- **▶▶/▶▶|**または**|◀◀/◀◀**押し続けると、連続して変化します。

② **▶▶/▶▶|または|◀◀/◀◀を押して「分」を合わせてからSETを押す**

表示窓に「ADJUST OK」が表示され、◷の点滅が点灯に変わります。

- 「分」を設定しているとき、CANCELを押すと「時」表示の点滅に戻せます。

ご注意

- 本機は、必ず時計合わせを完了してから、他の操作を行ってください。
- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、「0：00」の点滅表示に戻ることがあります。このようなときは、もう一度時計を正しい時刻に合わせてください。

お知らせ

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマーを使用するときは、事前に時刻を合わせ直してください。

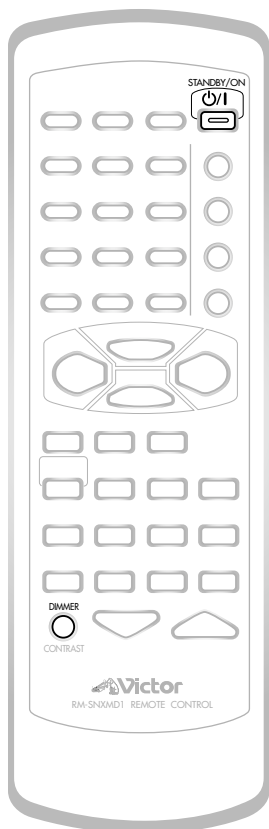
時計を正確に合わせるには

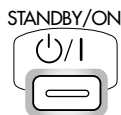
「分」を合わせてから、テレビ、ラジオの時報や、117の時報に合わせてSETを押すと正確に合わせることができます。
設定した時刻の0秒から時計が動き始めます。

時刻を修正するとき

- 設定した時刻を修正するときは、CLOCK/TIMERを5回押して時計を表示させてから**手順2**の操作で修正してください。

表示窓の明るさを変える

電源「入」のときの表示窓の明るさの切り換えと、電源「切」のときの時計表示の点灯／消灯を切り換えることができます。お買い上げ時は、電源「入」のときは明るい表示、電源「切」のときは時計表示消灯（省エネモード）に設定されております。

電源「入」のときの表示部の明るさを変える

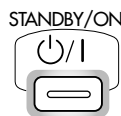
1 ⏻/I を押して電源を「入」にする

2 DIMMER を押す

DIMMERを押すごとに次のように表示部が変わります。

明るい表示 ⟷ 暗い表示

- 「暗い表示」にすると本体のVOLUME ランプが消えます。

電源「切」のときの表示部を変える

1 ⏻/I を押して電源を「切」にする

2 DIMMER を押す

DIMMERを押すごとに次のように表示部が変わります。

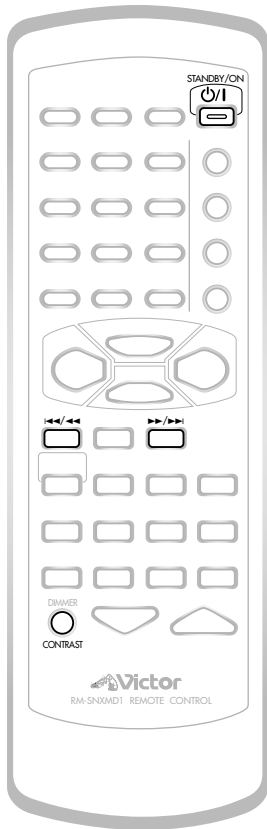
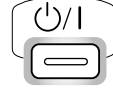
時計表示消灯 ⟷ 時計表示点灯

- 「時計表示消灯」にすると省エネモードが働きます。
- 「時計表示消灯」にしても回りの光線の具合によっては、時計表示が見えることもあります。

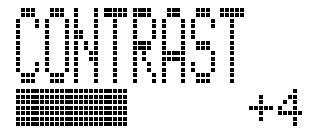
お知らせ

- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。

表示窓のコントラストを変える

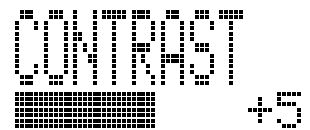
お部屋の状態に合わせて表示窓のコントラストを見やすく調節することができます。
お買い上げ時のコントラストは、+4 に設定されています。

1 **⏻/Iを押して電源を「入」にする**

2 **CONTRAST を 1 秒以上押す**

現在のコントラスト設定が表示されます。

CONTRAST
+4

3 **►►/►►I または I◄◄/◄◄ を押してコントラストを調節する**

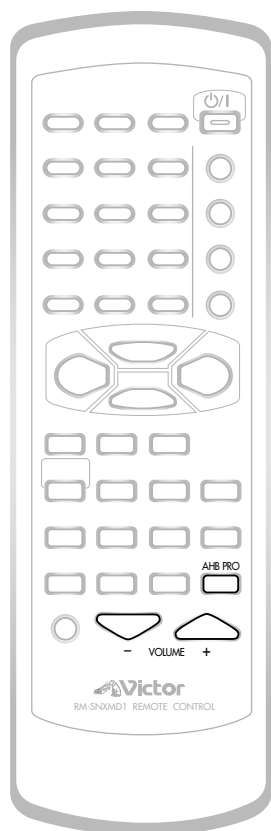
コントラストは0〜+7の範囲で調節できます。

または
I◄◄/◄◄

例：コントラストを +5 にしたときの表示

- 設定が終わったらいずれかのボタンを押します。また、操作をせずに 1 分が経過すると調節したコントラストのまま前の表示に戻ります。

お知らせ

- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。

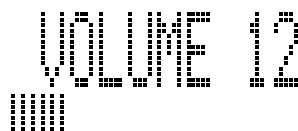
音量を調節する／重低音を強調する

ご注意

- 電源を入れたとき、いきなり大きな音が出るのを避けるため、電源を「切」にする前に音量を絞っておいてください。電源が「切」のときは、音量を調節することができません。

音量を調節する

VOLUME ＋または－を押して音量を調節する

音量は０～50の範囲で調節できます。

例：音量を 12 にしたときの表示

- 本体の VOLUME ＋、－も同様です。

重低音を強調する

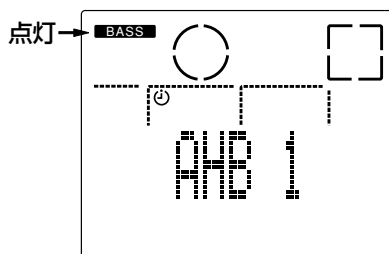
AHB PRO＊を押す

AHB PRO

AHB PRO を押すごとに次のように切り換わります。

AHB 1 ➡ AHB 2 ➡ AHB OFF（解除）

- 「AHB 2」は「AHB 1」より重低音が強調されます。
- ヘッドホンの音声も強調されます。

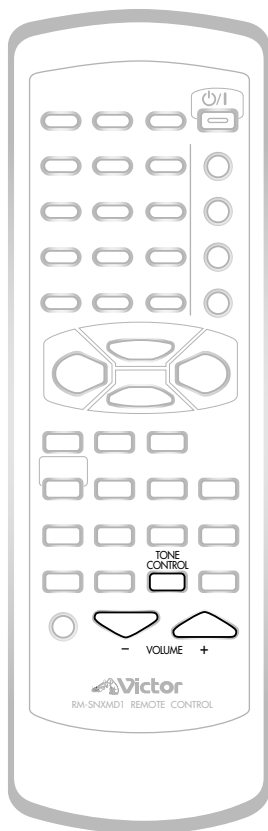
AHB 1 を選んだときの表示

- BASS表示が点灯し、「AHB 1」が数秒間表示されます。
- AHB OFFを選ぶとBASS表示が消灯します。

＊ **AHB PRO とは**

Active（アクティブ） Hyper（ハイパー） Bass（バス） PRO（プロ）の略で、クリアで迫力のある重低音が楽しめます。

基本操作

音質を変える

BASS（低音）とTREBLE（高音）の調節ができます。

1 TONE CONTROLを押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

TONE CONTROLを押すと次のように切り換わり、選んだ音質の現在のレベルが表示されます。

例：BASS（低音）を選んだときの表示

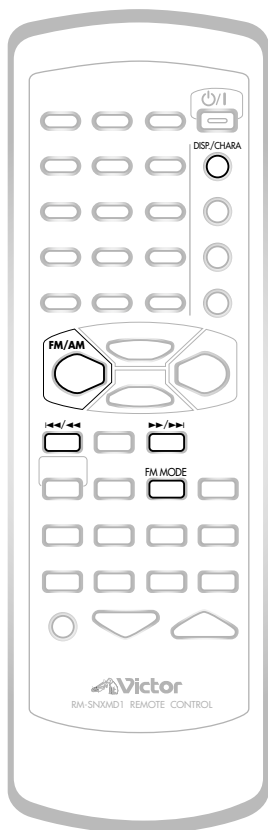
- 「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に**手順２**の操作をします。

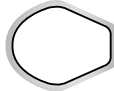
2 VOLUME＋または－を押してレベルを調節する

－５～０～＋５の範囲で調節できます。

例：BASS（低音）のレベルを＋３にしたときの表示

- 音質の調節が終わったら、ソース（音源）表示に戻るまで（約5秒）待つか、TONE CONTROLを押して解除します。
  VOLUME＋または－が音量調節用に戻ります。

ラジオを聞く

1 FM/AM を押してバンドを選ぶ

FM/AM

ソース（音源）がラジオになり、押すごとにFMまたはAMに切り換わります。

- 本体の FM/AM も同様です。

2 ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して周波数を選ぶ

▶▶/▶▶I
または
I◀◀/◀◀

2 種類の選局方法があります。

マニュアルチューニング：
▶▶/▶▶Iを「ポン」と押すと周波数が上がり、I◀◀/◀◀を「ポン」と押すと周波数が下がります。

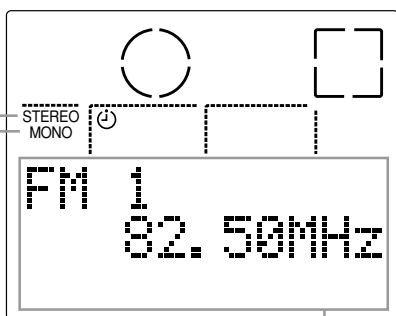
FM 放送：0.05 MHz ずつ
76.00MHz～108.00MHz
の範囲で選局できます。

AM 放送：9kHz ずつ
531kHz～1,629kHz
の範囲で選局できます。

オートチューニング：
▶▶/▶▶IまたはI◀◀/◀◀を押し続け、周波数が変わりだしたら指を離します。放送を受信すると自動で周波数が止まります。

- 本体の ▶▶I または I◀◀ も同様です。

表示窓について

FM ステレオ放送を受信すると点灯

FM モードをモノラル受信にすると点灯

受信周波数やFMモードなどを表示

お知らせ

- 付属のアンテナでうまく受信できないときは、FM 屋外アンテナを接続してください。（➡ 12 ページ参照）
- 本機は、AM ステレオ放送には対応しておりません。（AM 放送は、モノラル音声になります）
- 本機は、テレビ 1ch：95.75MHz、2ch：101.75MHz、3ch：107.75MHz の音声を受信することができます。

FM 放送がうまく受信できないとき（FM モード）

FM放送が雑音で聞きにくいときは、モノラル受信にして聞きやすくすることができます。

FM ステレオ放送を受信中に、FM MODE を押す

FM MODE

押すごとに「FM MONO」または「FM AUTO」に切り換わります。

FM MONO：（モノラル受信） モノラル音声になり、「MONO」表示が表示窓に点灯します。

FM AUTO：（オート受信） ステレオ放送のときはステレオ音声、モノラル放送のときはモノラル音声に自動で切り換わるオート受信になります。通常は「AUTO」でお使いください。

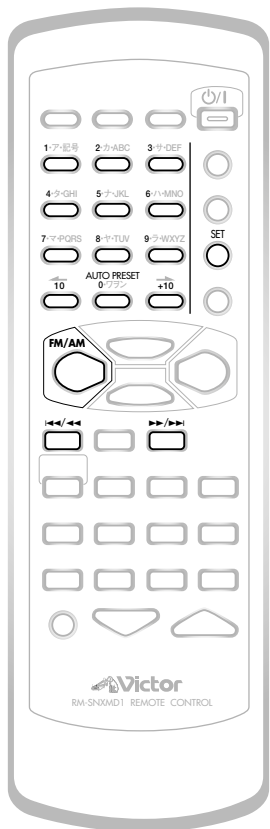
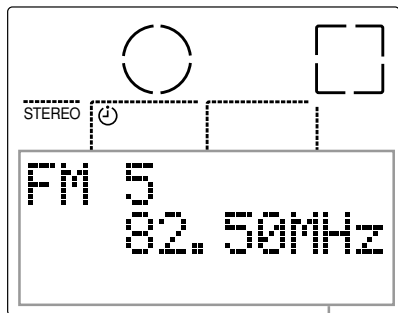
ラジオを聞いているときに時刻を知りたいとき

DISP./CHARA を押す

DISP./CHARA

ソース（音源）がラジオのときにリモコンの DISP./CHARA を押すと、時計を表示させることができます。もう一度押すとソース（音源）の表示に戻ります。

放送局を記憶させて簡単に呼び出す

放送局を記憶させて簡単に呼び出すことができます（プリセット選局）。記憶のさせかたには、自動で受信した放送局を記憶させるオートプリセットと手動で放送局を選んで記憶させるマニュアルプリセットがあります。
オートプリセットで放送局を記憶させるときは、記憶させるバンド（FM または AM）ごとに操作します。
FM 放送は 30 局、AM 放送は 15 局まで記憶させることができます。

表示窓について

プリセット番号や受信周波数を表示

お知らせ

- 雑音が多い放送局もプリセットされることがあります。
- 記憶させた放送局は、電源プラグを抜いたり停電があると、消去されることがあります。このようなときは、もう一度放送局を記憶させてください。

放送局を簡単に記憶させる（オートプリセット）

1 FM/AM を押してソース（音源）をラジオにし、オートプリセットするバンド（FM または AM）を選ぶ

FM/AM

ソース（音源）をラジオにしたあとFM/AM を押すとバンド（FM または AM）を選ぶことができます。

2 AUTO PRESET（0）を 2 秒以上押し続ける

AUTO PRESET
0･ワヲン

表示窓に「AUTO PRESET」が表示されたら指を離します。
受信できる放送局が自動で記憶され、プリセット番号と受信周波数が表示されます。

- 受信できる全ての放送局が記憶されるかFM放送のときは放送局が 30 局記憶されたとき、またAM放送のときは放送局が 15 局記憶されたときにオートプリセットが終了し、それぞれのバンド（FM または AM）の 1 に記憶した放送局が受信されます。

放送局を選んで記憶させる（マニュアルプリセット）

1 記憶させる放送局を受信する

FM/AM を押してバンドを選んでから ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して放送局を受信します。

または

2 SET を押す

SET

例：FM 82.50MHz の放送局を記憶させるとき

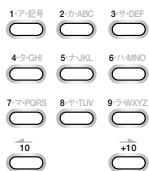
プリセット番号（点滅）

3 数字ボタン（1～10、+10）を押して記憶させるプリセット番号を選ぶ

プリセット番号の入力方法

1～10を選ぶとき：
1～10キーのいずれかを押す。

11～20を選ぶとき：
＋10キーを押してから、
1～10キーのいずれかを押す。

21～30を選ぶとき：
＋10キーを2回押してから、
1～10キーのいずれかを押す。

例：プリセット番号5に記憶させるとき
➡ 5 を押す

FM 5 ←点滅
82.50MHz
STORE?→SET

4 SETを押す

SET

FM 82.50MHzの放送局がプリセット番号5に記憶されます。

FM 5
82.50MHz
STORED

- マニュアルプリセットをしたあとにオートプリセットの操作をすると、マニュアルプリセットした放送局が全て消去され、オートプリセットで記憶された放送局に変更されます。
- FMモード（➡ 21 ページ参照）も記憶できます。

プリセット番号を変更する

上記の**手順3**のとき、すでに記憶されているプリセット番号を選んでSETを押すと、上書きで放送局のプリセット番号を変更することができます。

記憶させた放送局を呼び出す（リモコン）

1 FM/AMを押してバンドを選ぶ

2 数字ボタン（1～10、+10）を押して記憶させたプリセット番号を選ぶ

（プリセット選局）

プリセット番号の入力方法

1～10を選局するとき：
1～10キーのいずれかを押す。

11～20を選局するとき：
＋10キーを押してから、
1～10キーのいずれかを押す。

21～30を選局するとき：
＋10キーを2回押してから、
1～10キーのいずれかを押す。

記憶させた放送局を呼び出す（本体）

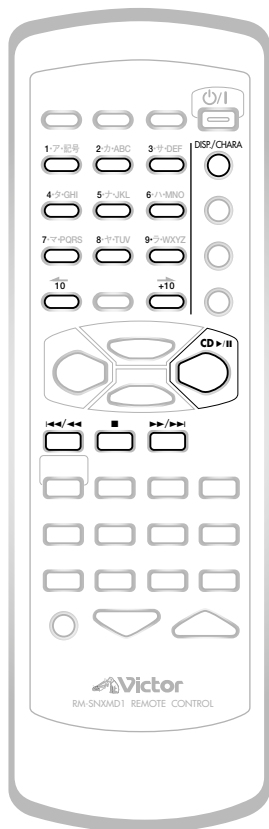
1 FM/AMを押してバンドを選ぶ

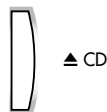
2 本体の ■ を押してプリセット番号を選ぶ（プリセットチューニング）

■

■を押すごとにプリセット番号が進む方向に選べます。

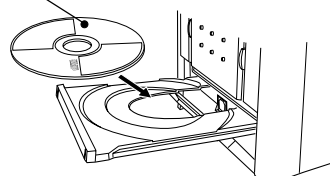
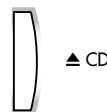
- プリセットチューニングのときは、プリセット番号を戻すことはできません。

CD を聞く（基本操作）

1 本体の ▲ CD を押してトレイを出す

▲ CD

ドアが開きトレイが出てきます。
- ソース（音源）が CD のときは、表示窓に「CD OPEN」が表示されます。
- ドアが開いているときは、トレイだけ出てきます。

2 文字のある面を上にして CD を置く

- 8センチCDは、CDトレイ内の凹部に置きます。

文字のある面を上にする

3 本体の ▲ CD を押す

トレイが引き込まれドアが閉じます。
- ソース（音源）が CD のときは、表示窓に「CD CLOSE」が表示されます。
- ドアが開いているときは、トレイだけ引き込まれます。

4 CD ►/II を押す

CD ►/II

演奏が始まります。
- 本体の CD ►/II も同様です。
- トレイが出ているときにCD ►/II を押すと、自動でトレイが引き込まれ、演奏が始まります。
- CD がトレイに入っていないときに CD ►/II を押すと、表示窓に「CD NO DISC」が表示されます。

CD についているマークを確認して

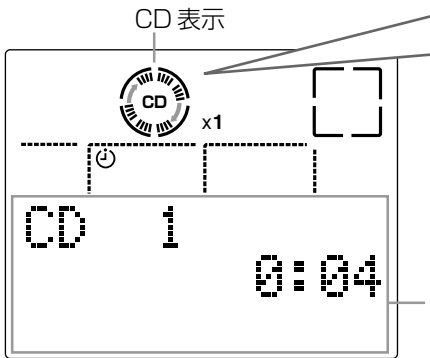
文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っている CD をお使いください。DVD やビデオ CD は再生できません。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。
- **音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが演奏できます。**
  ただし、ディスクの特性・記録状態傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。**
- **MP3 などの音声ファイルの再生または CD テキストの表示には対応しておりません。**
- **音楽用の CD フォーマット以外で記録したことのある CD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。**
- **ファイナライズされていないディスクの場合、表示窓に「UNFINALIZE」が表示されます。**

ご注意

- ハートや花などの形をしたシェイプ CD（特殊形状の CD）は、CD トレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのある CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなるなど故障の原因となります。

表示窓について

表示窓に表示される順番

ソース(音源)がCDのときに次のように表示されます。

CDを入れると：

CD読み込み中表示	CD READING
⬇	
総曲数と総時間表示	CD 24 1:01:18

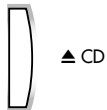
演奏を始めると：

演奏中曲番号と演奏時間表示	CD 1 0:04

CDを停止する

■

■を押します。
- 本体の■も同様です。

CDを取り出す

本体の▲ CDを押してトレイを出し、CDを取り出してから▲ CDを押してトレイを閉じます。
- トレイが出ているときに⏻/Iを押すと自動でトレイを閉じてから電源が「切」になります。

演奏を一時停止する

演奏中にCD ▶/IIを押します。
表示窓のCD表示と演奏時間が点滅します。
もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。
- 本体のCD ▶/IIも同様です。

CDを聞いているときに時刻を知りたいとき

DISP./CHARAを押す

ソース（音源）がCDのときにリモコンのDISP./CHARAを押すと、時計を表示させることができます。もう一度押すとソース（音源）の表示に戻ります。

曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

1·ア·記号　2·カ·ABC　3·サ·DEF
4·タ·GHI　5·ナ·JKL　6·ハ·MNO
7·マ·PQRS　8·ヤ·TUV　9·ラ·WXYZ
10　+10

1～10、+10を使って曲を選ぶと、選んだ曲から演奏が始まります。

1～10曲目を選ぶとき：
1～10キーのいずれかを押す。

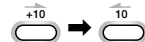
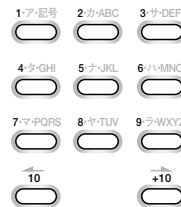
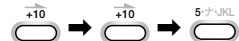
11曲目以上を選ぶとき：
＋10キーを先に押してから、1～10キーのいずれかを押す。

例：15曲目
+10 ➡ 5·ナ·JKL

例：20曲目
+10 ➡ 10

例：25曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5·ナ·JKL

曲の頭出し（スキップ）

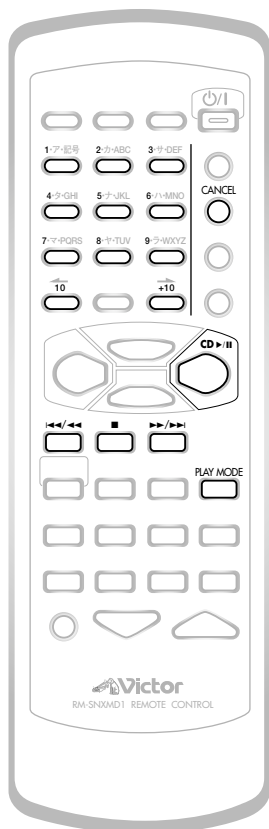
▶▶/▶▶I
または
I◀◀/◀◀

▶▶/▶▶I（次の曲の頭出し）またはI◀◀/◀◀（演奏中の曲の頭出し）を押します。押すごとに1曲ずつ変化します。
- 停止中に押すと曲ごとの演奏時間が表示されます。
- 本体の▶▶IまたはI◀◀も同様です。

早送り／早戻し（サーチ）

▶▶/▶▶I
または
I◀◀/◀◀

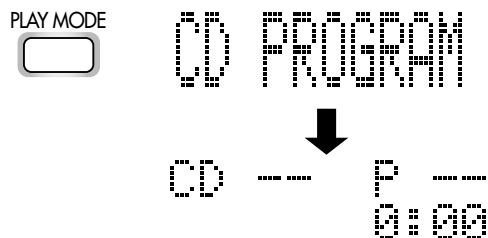
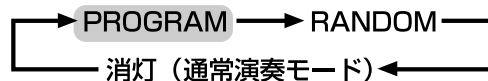
演奏中に▶▶/▶▶IまたはI◀◀/◀◀を押し続け、聞きたいところで指を離します。
- 本体の▶▶IまたはI◀◀も同様です。

CD のプログラム演奏

CD のお好きな曲をお好きな順番で聞くことができます。
ソース（音源）を CD にして停止中に操作します。

1 CD を入れ、CD を停止状態にする

「CD を聞く」（➡ 24 ページ参照）

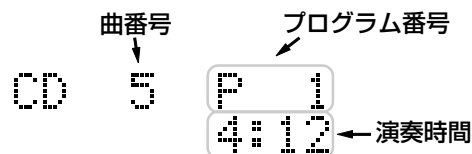
- ソース（音源）が CD になっていないときは、CD ▶/❚❚ を押してから ■ を押します。

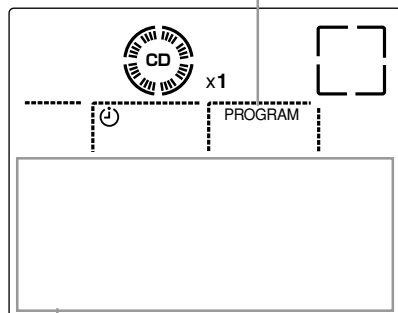
2 PLAY MODE を押して「CD PROGRAM」を選ぶ

- すでにプログラムがされているときは、曲番号、プログラム番号が表示されます。
- PLAY MODE を押すごとに表示窓のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

PROGRAM → RANDOM → 消灯（通常演奏モード）→ PROGRAM

3 1～10、＋10を押して曲を指定する

曲番号を直接入力します。（数字キーの使いかたは➡ 25 ページ「ダイレクト演奏」参照）

- **手順3**をくり返すと最大32曲までプログラムできます。
33 曲目を指定すると「MEMORY FULL」が数秒間表示されます。

例：5 曲目を指定したとき

- 演奏時間はプログラムした曲の合計時間が表示されます。演奏時間が 1 時間 39 分 59 秒を超えると「－－：－－」が表示されます。

表示窓について

曲番号、プログラム番号、プログラム演奏する曲の総時間などの表示

お知らせ

- 電源を「切」にすると、記憶されているプログラムの内容はすべて削除されます。

4 CD ►/II を押す

プログラム演奏が始まります。
- プログラムした全曲の演奏が終わると、自動停止します。

曲順の確認

または

CDが停止中に►►/►►I（次の曲）またはI◄◄/◄◄（前の曲）を押します。
- 本体の►►IまたはI◄◄では、曲順の確認はできません。

プログラムを間違えたときは（プログラムの削除）

CD が停止中にCANCEL を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラム演奏のモードを解除する

CDが停止中にPLAY MODEを押して、プレイモード表示のPROGRAM表示を消灯させます。
ただし、プログラムの内容は残ります。

プログラムを全て消去する

CD が停止中に「CD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまでCANCEL を押し続けます。
- 本体の▲ CDを押して、CDを取り出したときもプログラムが全て消去されます。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
（➡ 29 ページ「CD のリピート演奏」参照）

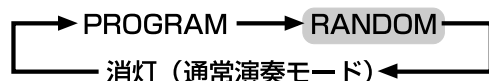
CD のランダム演奏

CD の曲をランダム（無作為）に演奏することができます。
ソース（音源）を CD にして停止中に操作します。

1 CD を入れ、CD を停止状態にする

「CD を聞く」(➡ 24 ページ参照)
- ソース（音源）が CD になっていないときは、CD ▶/II を押してから ■ を押します。

2 PLAY MODE を押して「CD RANDOM」を選ぶ

PLAY MODE

- PLAY MODE を押すごとに表示窓のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

3 CD ▶/II を押す

ランダム演奏が始まります。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲され、全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- ランダム演奏中に 1 ～ 10、+10 のキーを押すと、その曲からの通常演奏になります。

表示窓について

RANDOM 表示

CD x1 RANDOM

曲番号、演奏時間などの表示

ランダム演奏中の頭出し

▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀

演奏中に ▶▶ /▶▶I を押すと次に演奏する曲の選曲を始めます。
I◀◀/◀◀を押すと演奏中の曲の頭出しをします。

ランダム演奏のモードを解除する

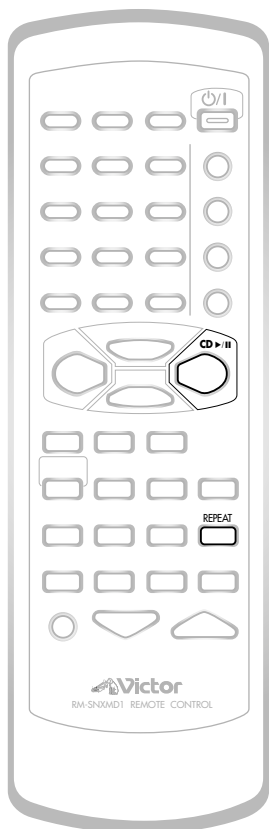
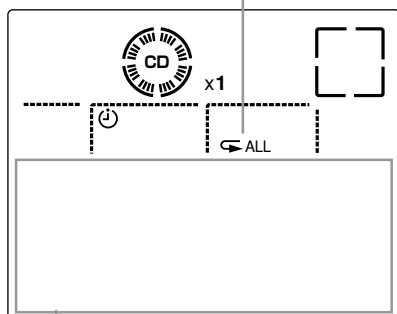
PLAY MODE

CD が停止中に PLAY MODE を押して、プレイモード表示の RANDOM 表示を消灯させます。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるごとに異なります。
(➡ 29 ページ「CD のリピート演奏」参照)

CD のリピート演奏

CD が演奏中／停止中に設定や解除のできる 2 種類のリピート演奏があります。

1 REPEAT を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT

REPEAT を押すごとに次のように切り換わります。

- （　　）内はリピート表示とリピートモードです。

REPEAT ALL ：全曲をくり返し演奏します。

REPEAT 1 ：1 曲だけくり返し演奏します。

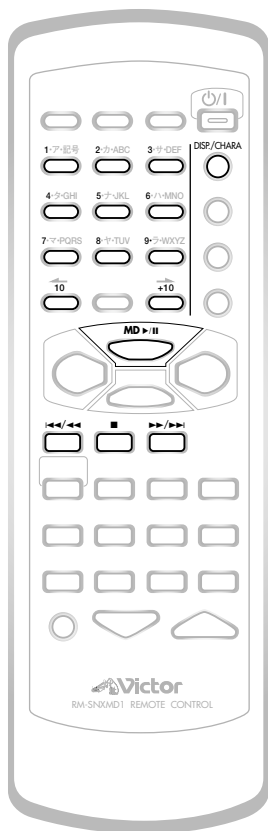
- CD が停止中のときは、CD ▶/II を押して演奏を始めます。
  1 曲リピートは、数字キーを使うとダイレクトに曲を選ぶことができます。

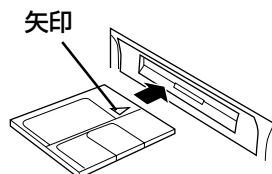
リピート演奏のモードを解除する

REPEAT

REPEATを押して表示窓のリピート表示を消灯させます。

MD を聞く（基本操作）

本機のMDプレーヤーは、MDLP（ステレオ２倍長時間録音またはステレオ４倍長時間録音）で録音された曲の演奏に対応しています。**電源を入れてから操作します。**

1 MD 挿入口に MD を入れる

MDに表示されている矢印の方向に、矢印のある面を上にして差し込みます。
途中まで入れると自動的に引きこまれます。

- MDを間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。
- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると故障の原因となります。

2 MD ►/❚❚ を押す

MD ►/❚❚

演奏が始まります。
- 本体のMD ►/❚❚ も同様です。
- MDが入っていないときに、MD►/❚❚ を押すと「MD NO DISC」が表示されます。

表示窓に表示される順番

ソース（音源）が MD のときに次のようになります。

MD を入れると：

MD 読み込み中表示　MD LOADING
↓
MD READING

↓

総曲数、総グループ数、総時間表示（停止中の表示）　MD 28 GR. 2　2:24:08　ディスクタイトル*

演奏を始めると：

演奏中曲番号、グループ番号、演奏時間表示（演奏中の表示）　MD 1 GR. 1　0:04　曲 タ イ ト ル*

- グループについては、「MD のグループ演奏」（➡ 32 ページ）をご覧ください。

* タイトルが12文字以上あるときは、スクロール表示されます。

MD LP について

- **MDLP** はMD規格に適合し、新しい音声圧縮方式のATRAC3を採用したステレオ２倍（または４倍）長時間録音･再生モードの機能を持ったMDレコーダー/プレーヤー、またはATRAC3による音声録音されているMDメディア（レコーダブル･メディアを除く）に表示されています。

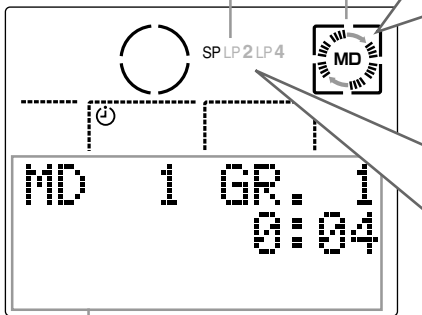
ご注意

- すでにMDが入っているとき（表示窓のMD表示が のとき）は、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。
- 電源「切」のときは、MDを挿入できません。

表示窓について

MD の再生モード表示　MD 表示

SP LP2 LP4

MD 1 GR. 1
0:04

曲番号、演奏時間、グループ*番号、タイトルなどを表示

* グループについては、32 ページをご覧ください。

MD	MD	MD	MD
ソース（音源）が MD のとき	MD が入っているとき	演奏中（回転表示）	一時停止中（点滅）

MD の再生モード表示について

MDは録音したときの録音モードにしたがって演奏されます。演奏が始まると、表示窓に演奏曲の再生モードのいずれかが表示されます。

- **SP**：本機でステレオ録音した曲または **MD LP** に対応していない MD レコーダーで録音した曲のとき
- **LP2**：ステレオ 2 倍長時間録音した曲のとき
- **LP4**：ステレオ 4 倍長時間録音した曲のとき

MD を停止する

■

■ を押します。

- 本体の ■ も同様です。

MD を取り出す

≜ MD

本体の ≜ MD を押して MD 挿入口から MD を出します。

- MD挿入口から出てきたMDは、必ず本体から抜き取っておきます。

演奏を一時停止する

MD ▶/II

演奏中に MD ▶/II を押します。
表示窓の MD 表示と演奏時間が点滅します。
もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。

- 本体の MD ▶/II も同様です。

曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

1·ア·記号　2·カ·ABC　3·サ·DEF
4·タ·GHI　5·ナ·JKL　6·ハ·MNO
7·マ·PQRS　8·ヤ·TUV　9·ラ·WXYZ
10　+10

1〜10、+10を使って曲を選ぶと、選んだ曲から演奏が始まります。

1 〜 10 曲目を選ぶとき：
1 〜 10 キーのいずれかを押す。

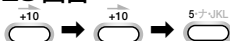
11 曲目以上を選ぶとき：
＋ 10 キーを先に押してから、1 〜 10 キーのいずれかを押す。

例：15 曲目
+10 ➡ 5·ナ·JKL

例：20 曲目
+10 ➡ 10

例：25 曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5·ナ·JKL

曲の頭出し（スキップ）

▶▶/▶▶I
または
I◀◀/◀◀

▶▶/▶▶I（次の曲の頭出し）または I◀◀/◀◀（演奏中の曲の頭出し）を押します。押すごとに 1 曲ずつ変化します。

- 停止中に押すと曲ごとの演奏時間と曲タイトルが表示されます。
- 本体の▶▶IまたはI◀◀も同様です。

早送り／早戻し（サーチ）

▶▶/▶▶I
または
I◀◀/◀◀

演奏中に ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押し続け、聞きたいところで指を離します。

- 本体の▶▶IまたはI◀◀も同様です。

表示を変える

DISP./CHARA

DISP./CHARAを押すと、押すごとに次のように変わります。

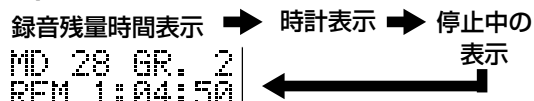
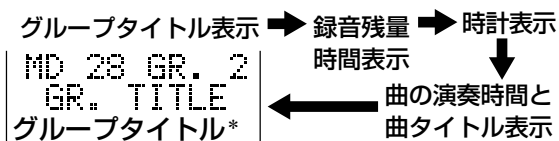
停止中：

録音残量時間表示 ➡ 時計表示 ➡ 停止中の表示 ➡（録音残量時間表示に戻る）

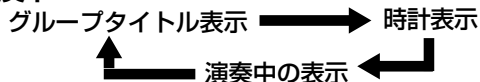
MD 28 GR. 2
REM 1:04:50

停止中に曲の頭出し（スキップ）をしたとき：

グループタイトル表示 ➡ 録音残量時間表示 ➡ 時計表示 ➡ 曲の演奏時間と曲タイトル表示 ➡（グループタイトル表示に戻る）

MD 28 GR. 2
GR. TITLE
グループタイトル*

* タイトルが 12 文字以上あるときは、スクロール表示されます。

演奏中：

MDを聞く

MD のグループ演奏

本機には新しい機能として MD グループ管理機能があります。MD グループ管理機能については左下の説明をご覧ください。
ここでは、MDにグループ録音されたりグループ編集された曲のグループを選んで演奏する方法について説明します。

本機の MD グループ管理機能について

MD グループ管理機能は、ステレオ長時間録音（MDLP）で従来よりも多くの曲が 1 枚の MD に録音できるようになったため、MD に録音された曲をグループに分けて管理する機能です。99 グループまで管理することができ、1 曲でもグループにすることができます。

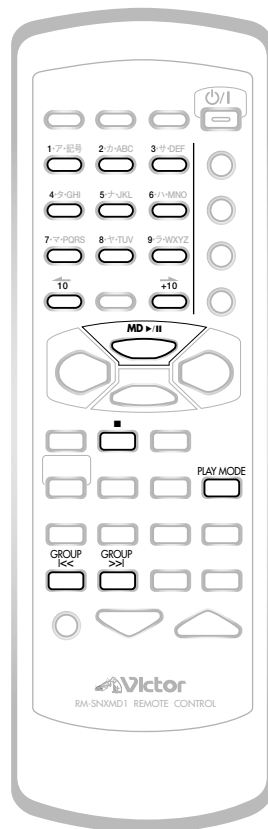
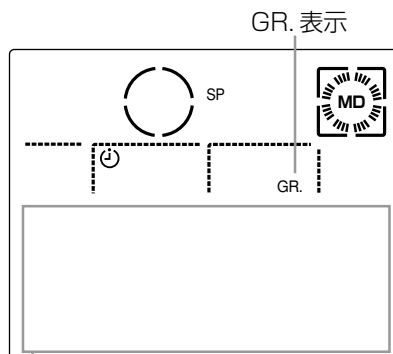
グループに分けるには次の方法があります。

- **グループとして録音する（➡ 45 ページ参照）**
- **グループを作る（➡ 62 ページ参照）**
  グループはあとから解除したり再編集できます。

グループに分けておくと次のようなことができます。

- **グループを選んでグループ内の曲だけ演奏する**
  グループ演奏（➡ 33 ページ参照）
- **グループ内の曲をくり返し演奏する**
  （➡ 37 ページ参照）
- **グループごとのタイトルをつける**
  （➡ 56 ～ 61 ページ参照）

例：MD に 18 曲録音されていてグループが 2 つあるとき

曲番号	MD
1	**グループ 1**
2	
3	
4	1 曲目から 8 曲目がグループ 1
5	
6	
7	
8	
9	9 曲目と 10 曲目はグループされていない
10	
11	**グループ 2**
12	
13	
14	11 曲目から 18 曲目がグループ 2
15	
16	
17	
18	

表示窓について

お知らせ

- MD のタイトルサーチ（➡ 38 ページ参照）の操作をするとグループ演奏が解除されて、通常演奏になります。

1 MD挿入口にグループ管理されているMDを入れ、停止状態にする

「MDを聞く（基本操作）」（➡ 30 ページ参照）

• ソース（音源）がMDになっていないときは、MD ▶/❚❚を押してから■を押します。

グループ管理されているMDは、MD読み込み中表示のあとに、総曲数と総時間表示の他に総グループ数が表示されます。

例：総グループ数が２のとき

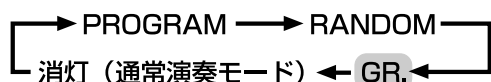
総グループ数

MD 18 GR. 2
2:24:08

2 PLAY MODEを押して「MD GROUP」を選ぶ

PLAY MODE

• PLAY MODEを押すごとに表示窓のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

→ PROGRAM → RANDOM → GR. → 消灯（通常演奏モード）→

3 GROUP >>I または I<<を押して演奏するグループを選ぶ

GROUP >>I

または

GROUP I<<

GROUP >>Iを押すと次のグループを選び、GROUP I<<を押すと前のグループを選びます。

例：グループ２を選んだとき

グループ２の最初の曲の曲番号　グループ番号

MD 11 GR. 2
4:26

曲の演奏時間

4 MD ▶/❚❚を押す

MD ▶/❚❚

演奏が始まります。
グループ内の曲の演奏が終了すると自動停止します。

• 本体のMD ▶/❚❚も同様です。
• グループ演奏中に1～10、+10のキーを押すとグループ演奏が解除され、その曲から通常演奏になります。

グループ演奏中に他のグループを選ぶ（グループスキップ）

GROUP >>I　または　GROUP I<<

GROUP >>I（次のグループ）またはGROUP I<<（前のグループ）を押します。
選んだグループの最初の曲から演奏を始めます。

グループ演奏を解除する

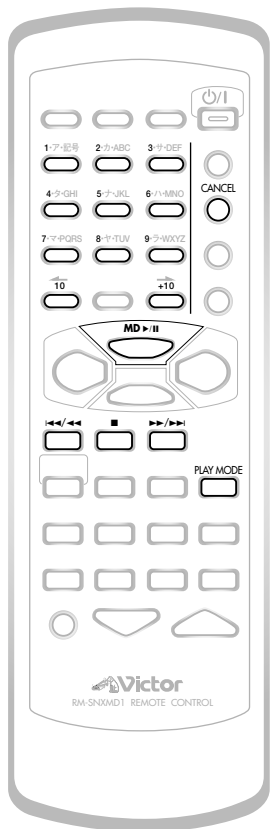
PLAY MODE

MDが停止中にPLAY MODEを押して、プレイモード表示のGP.表示を消灯させせます。
「MD NORMAL」が数秒間表示され、通常演奏になります。

くり返しグループ演奏をする

グループ演奏とリピート演奏を組み合わせると、グループ内の曲をくり返して聞くことができます。
（➡ 37 ページ「MDのリピート演奏」参照）

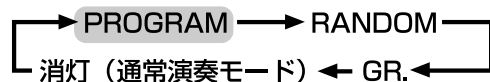
MD のプログラム演奏

お好きな曲をお好きな順番で聞くことができます。
ソース（音源）を MD にして停止中に操作します。

1 MD を入れ、MD を停止状態にする

「MD を聞く」（➡ 30 ページ参照）

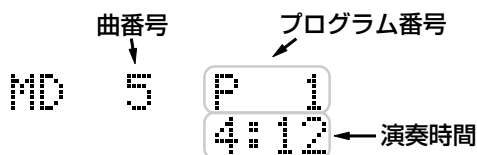
- ソース（音源）が MD になっていないときは、MD ▶/II を押してから ■ を押します。

2 PLAY MODE を押して「MD PROGRAM」を選ぶ

- すでにプログラムがされているときは、その曲番号とプログラム番号が表示されます。
- PLAY MODE を押すごとに表示窓のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

3 1〜10、＋10を押して曲を指定する

曲番号を直接入力します。（➡ 31 ページ「ダイレクト演奏」参照）

- **手順3**をくり返すと最大32曲までプログラムできます。33曲目を指定すると「MEMORY FULL」が数秒間点表示されます。

例：5 曲目を指定したとき

- 曲タイトルがあるときは、曲タイトルも表示されます。
- 演奏時間表示はプログラムした曲の合計時間が表示されます。演奏時間が2 時間29 分59 秒を超えると「－－：－－」が表示されます。

表示窓について

曲番号、プログラム番号、プログラム演奏する曲の総時間などの表示

お知らせ

- 電源を「切」にすると、記憶されているプログラムの内容はすべて削除されます。
- MD のタイトルサーチ（➡ 38 ページ参照）の操作をするとプログラム演奏が解除されて、通常演奏になります。

4 MD ►/II を押す

プログラム演奏が始まります。
- プログラムした全曲の演奏が終わると、自動停止します。
- プログラム演奏中は、グループスキップ（➡ 33 ページ参照）はできません。

曲順の確認

MDが停止中に►►/►►I（次の曲）またはI◄◄/◄◄（前の曲）を押します。
- 本体の►►IまたはI◄◄では、曲順の確認はできません。

プログラムを間違えたときは（プログラムの削除）

MDが停止中にCANCELを押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラム演奏のモードを解除する

MDが停止中にPLAY MODEを押して、プレイモード表示のPROGRAM表示を消灯させます。ただし、プログラムの内容は残ります。

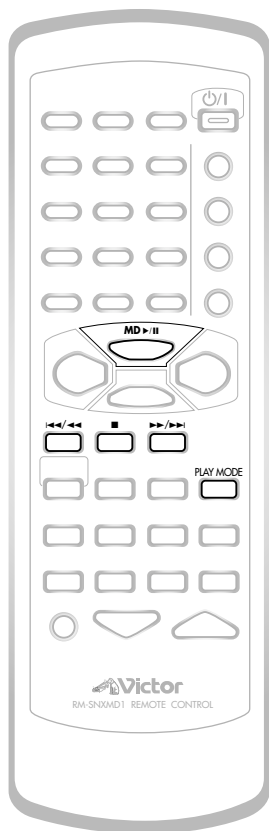
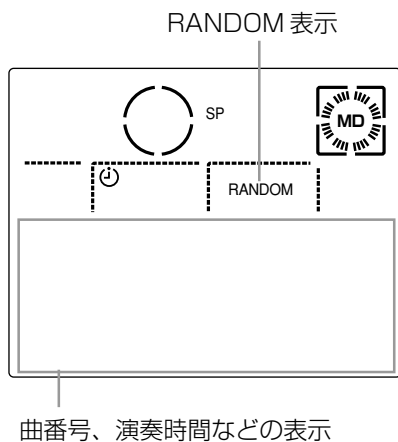
プログラムを全て消去する

MDが停止中に「MD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまでCANCELを押し続けます。
- 本体の ⏏ MD を押して、MD を取り出したときもプログラムが全て消去されます。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
（➡ 37 ページ「MDのリピート演奏」参照）

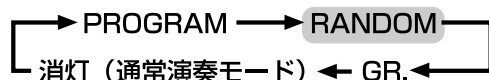
MD のランダム演奏

ランダム（無作為）な曲順で演奏することができます。
ソース（音源）を MD にして停止中に操作します。

1 MD を入れ、MD を停止状態にする

「MD を聞く」（➡ 30 ページ参照）

- ソース（音源）が MD になっていないときは、MD ▶/II を押してから ■ を押します。

2 PLAY MODE を押して「MD RANDOM」を選ぶ

PLAY MODE

- PLAY MODE を押すごとに表示窓のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

→ PROGRAM → RANDOM → GR. → 消灯（通常演奏モード）→

3 MD ▶/II を押す

MD ▶/II

ランダム演奏が始まります。

- 一度演奏した曲は重ならないように選曲され、全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- ランダム演奏中に 1 ～ 10、+10 のキーを押すと、その曲からの通常演奏になります。
- ランダム演奏中は、グループスキップ（➡ 33 ページ参照）はできません。

表示窓について

RANDOM 表示

SP
MD
RANDOM

曲番号、演奏時間などの表示

ランダム演奏中の頭出し

▶▶/▶▶I
または
I◀◀/◀◀

演奏中に ▶▶ /▶▶I を押すと次に演奏する曲の選曲を始めます。
I◀◀/◀◀を押すと演奏中の曲の頭出しをします。

ランダム演奏のモードを解除する

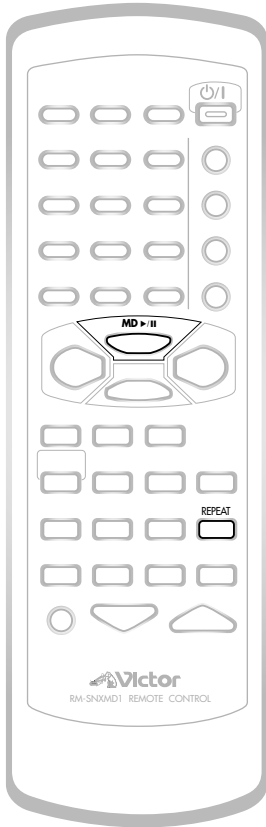
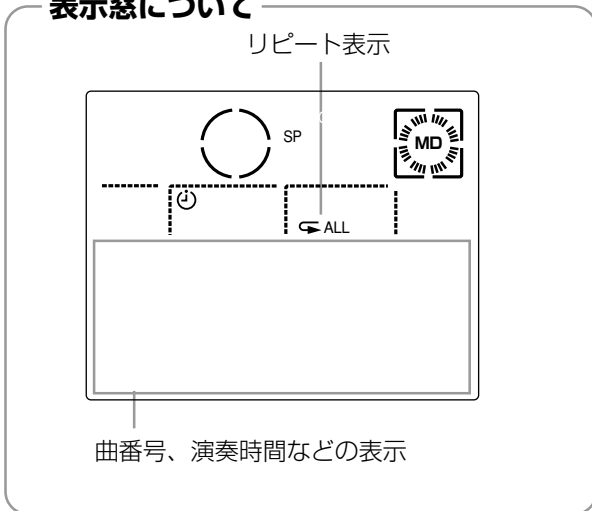
PLAY MODE

MD が停止中に PLAY MODE を押して、プレイモード表示の RANDOM 表示を消灯させせます。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるごとに異なります。
（➡ 37 ページ「MD のリピート演奏」参照）

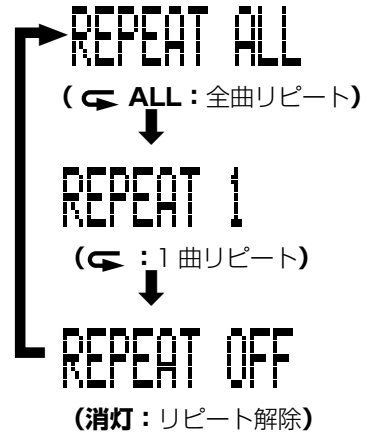
MD のリピート演奏

MD が演奏中／停止中に設定や解除のできる 2 種類のリピート演奏があります。

1 REPEAT を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT

REPEAT を押すごとに次のように切り換わります。

- （　　）内はリピート表示とリピートモードです。

REPEAT ALL
（ALL：全曲リピート）
↓
REPEAT 1
（：1 曲リピート）
↓
REPEAT OFF
（消灯：リピート解除）

REPEAT ALL：全曲をくり返し演奏します。
グループ演奏のときは、グループ内の全曲をくり返し演奏します。
プログラム演奏のときは、プログラムされた全曲をくり返し演奏します。

REPEAT 1：1 曲だけくり返し演奏します。

- MDが停止中のときは、MD ▶/IIを押して演奏を始めます。
1 曲リピートは、数字キーを使うとダイレクトに曲を選ぶことができます。

リピート演奏のモードを解除する

REPEAT

REPEATを押して表示窓のリピート表示を消灯させます。

表示窓について

MD のタイトルサーチ

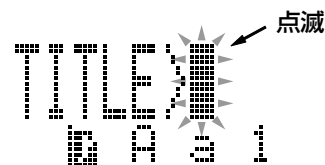
曲タイトルから曲を探して演奏します。曲タイトルのついていない曲を探して演奏することもできます。
タイトルサーチは、MD が演奏中または停止中のどちらでも操作できます。

1 タイトルサーチする MD を入れる

「MD を聞く」（➡ 30 ページ参照）
• ソース（音源）が MD になっていないときは、MD ▶/❚❚ を押します。

2 TITLE SEARCH を押す

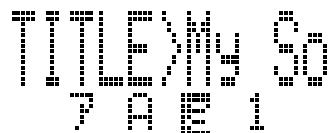
TITLE SEARCH

TITLE SERACH表示が点灯し、文字入力表示が表示されます。

• 演奏中はMDが通常演奏（プレイモード表示消灯）の状態で停止します。
• プログラム演奏やランダム演奏またはリピート演奏のときは解除され、通常演奏の停止状態になります。

3 探すタイトルを入力する

タイトルのついている曲を探すとき

• **タイトルの最初の 1 ～ 5 文字を入力**します。
• 文字入力のしかたは、39 ページをご覧ください。

例：タイトル「My Song」を探すとき

•「M」だけ入力したときは、最初が「M」で始まる曲を全て探します。
• スペースも含めた文字を対象に探しますが、スペースの後に文字が無いときは、スペースを含めずに探します。
• 英大文字と英小文字は区別されます。「My」を「MY」で入力すると、「My Song」は探せません。

タイトルのついていない曲（NO TITLE）を探すとき

➡ 手順 4 へ進む

表示窓について

お知らせ

• タイトルサーチは、グループタイトルを探すことはできません。
• タイトルサーチで曲を演奏しているときは、スリープタイマー（➡ 87 ページ参照）の設定はできません。

4 ENTERを押す

ENTER

「SEARCH」が点滅表示され、曲を探します。

タイトルのついている曲を探しているとき：

入力した文字で始まるタイトルがあるとき
その曲を演奏してから再び曲を探し始め、入力した文字で始まる別の曲があるときは、その曲を演奏します。MDの最後まで探しても無いときは「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチが終了し解除されます。

入力した文字で始まるタイトルが無いとき
「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチが終了し解除されます。

タイトルのついていない曲を探しているとき：

タイトルのついていない（NO TITLE）曲があるとき
その曲を演奏してから再び曲を探し始め、タイトルのついていない別の曲があるときは、その曲を演奏します。MDの最後まで探しても無いときは「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチが終了し解除されます。

全ての曲にタイトルがついているとき
「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチが終了し解除されます。

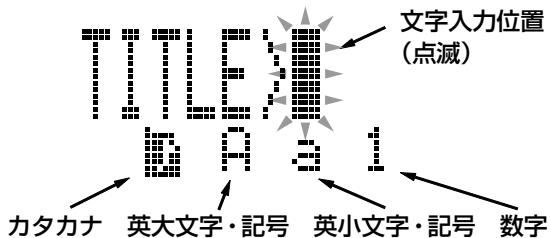
- 演奏中に▶▶/▶▶Iを押すと、「SEARCH」が再び点滅表示され、別の曲を探し始めます。
- 演奏中に▶▶/▶▶IまたはI◀◀/◀◀を使って早送り／早戻し、演奏中の曲や前の曲の頭出しをすることはできますが、次の曲の頭出しはできません。

タイトルサーチを途中で解除する

TITLE SEARCHを押します。
タイトルサーチが解除されます。
演奏中は、演奏中の曲から通常演奏になります。
- ■を押してもタイトルサーチは解除されます。

文字入力のしかた

文字の種類を選ぶとき

DISP./CHARA

DISP./CHARA＊を押す
押すごとに入力する文字の種類が変わります。下図はカタカナ入力です。

＊ CHARAはCHARACTER（キャラクター）（文字や記号）の略です。

文字を選ぶとき

1～0を押す

カタカナ入力

1・ア・記号 ～ 9・ラ・WXYZ：ア行からラ行までが割り当ててあります。
AUTO PRESET 0・ワヲン：ワ行と「゛、—、゜」が割り当ててあります。

例：メを入力するときは 7・マ・PQRS を４回押す。

英大文字・英小文字入力

数字キーの上に印刷してある記号と英文字が入力できます。

記号は 1・ア・記号 にあります。

例：Kを入力するときは 5・ナ・JKL を２回押す。

- 文字を間違えたときは、CANCELを押します。
- 入力できる文字の詳しい内容は、59ページの「リモコンの文字配列表」をご覧ください。

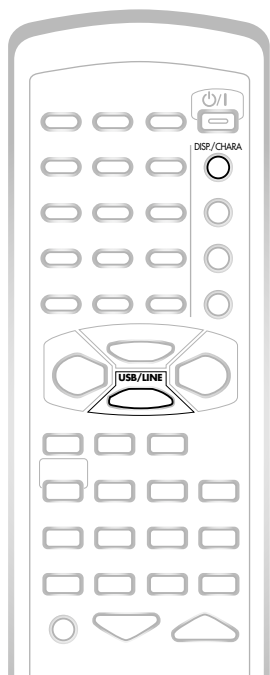
文字の入力位置を移動するとき

←10 または +10→ を押します。
スペース（空白）を入れるときは、+10→ を押します。または記号の「スペース」を選びます。

これらの操作をくり返して文字を入力します。

MDを聞く

パソコンからの音声を聞く

本体ドア内にあるUSB AUDIO端子に接続したパソコンからの音声を聞きます。

本機で音声が聞けるパソコンは…

- Microsoft社のWindows® 98、Windows®MeまたはWindows®2000の日本語版がプリインストールされていて、USB端子を持ち、CPUがIntel MMX®Pentium® 166MHz以上のパソコン。

本機と接続する前に次のことを確認してください。
- Windows®98、Windows®MeまたはWindows® 2000の日本語版が正しく起動できること。
- BIOSの設定で、USB機能が「使用する」に、USB IRQが「AUTO」または使用可能なIRQ番号に設定されている。

必要条件を満たすパソコンであっても、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

- MMX ®、Pentium ®はIntel Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows®98、Windows® Me、Windows® 2000は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

ご注意
- **本機のUSB AUDIO端子に接続したパソコンからの音声は、本機のMDで録音することはできません。**
- **パソコンからの音声が出ているときは、USBケーブルを抜かないでください。故障の原因となります。**

1 USB/LINEを押して「USB」を選ぶ

USB/LINE

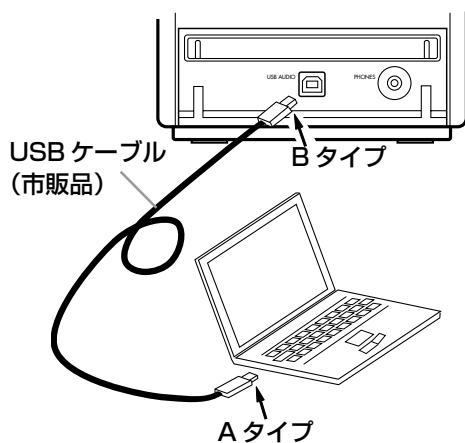
USB/LINEを押すごとに次のように切り換わります。

USB ➡ LINE ➡ DIGITAL IN

表示窓に「USB」が表示されます。
- 本体のUSB/LINEも同様です。

2 パソコンの電源を入れて起動する

正しく起動できることを確認してください。

3 本体のドアを開け、USBケーブル(市販品)を使って本機とパソコンを接続する

初めて接続したときは、**41ページの「ドライバーのインストール」へ進む**

2回目以降のときは手順4へ進む

4 パソコンに本機が検出されたら、音声ファイルを再生する

音声ファイルには、MP3、WMAなどがあります。再生のしかたは、パソコンまたはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

5 本機で音量や音質の調節をする

- **パソコンの音声ファイルを再生中は、本機の電源を「切」にしないでください。次回電源を「入」にしたときに正しく動作しません。このような場合は、手順1からやり直してください。**

ドライバーのインストール

初めて本機とパソコンを接続したときだけ、パソコンにドライバーをインストールします。

• パソコンによっては、ドライバーのインストールにWindows®98、Windows®MeまたはWindows®2000のシステムディスクが必要な場合があります。

本機のソース（音源）を「USB」にし、パソコンを起動してから本機とUSBケーブルで接続すると、パソコンが本機を検出し、必要なドライバーインストールのウィザードが起動する

「USB 互換デバイス」➡「USBオーディオデバイス」の順に続けてインストールされます。

例：Windows®MeでUSBオーディオデバイスのとき

ウィザードでは、特に問題がないときは、[次へ] をクリックしていきます。
[次へ] がクリックできないとき、またはパソコンのウインドウに指示が出ているときは、その指示にしたがった操作をしてください。

ドライバーのインストール終了

正しくインストールできているか確認する

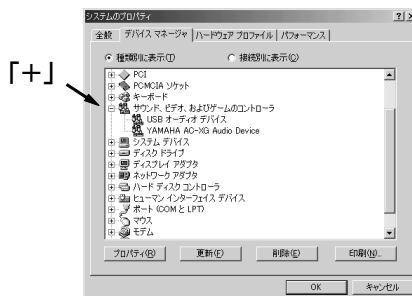
「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」がインストールされていることを確認します。

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［システム］→［デバイスマネージャ］を開く

パソコンによっては、アドバンスモードに設定する必要があります。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 各項目の「+」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

• 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USB オーディオ デ バイス」がある
• 「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」項目の中に「USB 互換デバイス」がある

「+」

ご注意

• インストールされた2種類のUSBデバイスは、本機の電源が「入」でパソコンに接続しているときに「デバイスマネージャ」に現れます。

プラグ&プレイ

本機のソース（音源）が「USB」でパソコンの電源が「入」のときにUSBケーブルの抜き差しをします。
USBケーブルが接続されることで、パソコンが自動的に本機を検出し、周辺機器として本機が認識されるプラグ&プレイです。
パソコンからの音声を聞き終わったら、USBケーブルを本機とパソコンから抜きます。

パソコンが本機を検出しないときは

数秒間待っても本機が検出されないときは、USB ケーブルをもう一度接続し直してください。それでも検出されないときは、Windows®98、Windows®MeまたはWindows® 2000を再起動してください。

パソコンからの音声信号が再生されるか確認する

1 本機の音量を適当な音量に合わせる

2 パソコンで、［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［サウンド］を開く

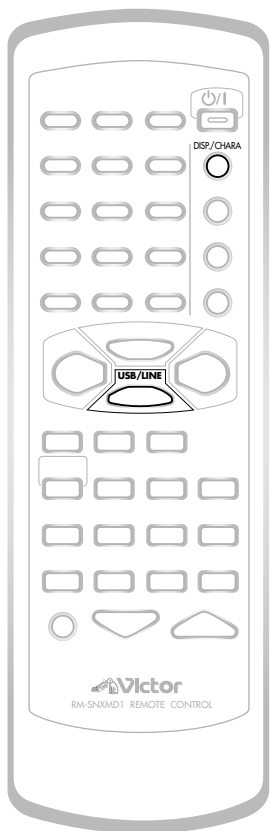
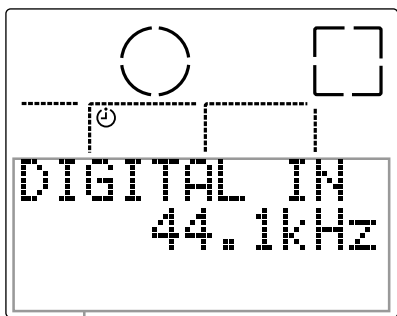
3 パソコンで、「Windows の起動」を選んでから［再生］ボタンをクリックする

本機から「Windows の起動」音が聞こえてきます。
聞こえないときは、93 ページをご覧ください。

時計を表示させる

ソース（音源）が「USB」のときにリモコンのDISP./CHARAを押すと、表示窓に時計を表示させることができます。もう一度押すと「USB」の表示に戻ります。

他の機器の音声を聞く

LINE IN 端子または OPTICAL DIGITAL IN 端子に接続した他の機器の音声を聞くことができます。
本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、CS/BS チューナーや DAT などのデジタル機器に対応しております。

表示窓について

ソース（音源）名の表示

ご注意

- 本機背面のOPTICAL DIGITAL IN端子はPCM音声に対応しています。BS デジタル放送などの AAC 音声には対応しておりません。

1 USB/LINE を押して「LINE」または「DIGITAL IN」を選ぶ

USB/LINE

USB/LINE を押すごとに次のように切り換わります。

USB ➡ LINE ➡ DIGITAL IN

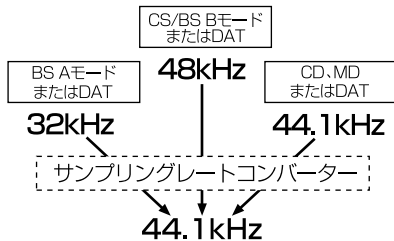
- 選んだソース（音源）名が表示窓に表示されます。
- 本体の USB/LINE も同様です。

2 他の機器を演奏状態にする

本機のアンプ機能を使って音量や音質の調節などをします。

- 正しく接続されていることを確認してください。

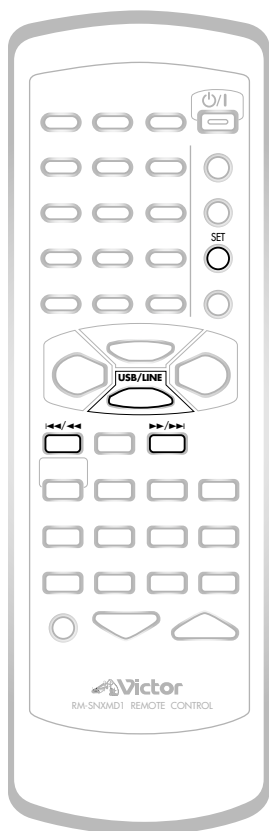
デジタル機器の録音について

本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しています。デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく聞いたり録音することができます。ただし、DVD などのドルビーデジタルや DTS デジタル信号には対応しておりません。

時計を表示させる

DISP./CHARA

ソース（音源）が LINE または DIGITAL IN のときにリモコンの DISP./CHARA を押すと、表示窓に時計を表示させることができます。もう一度押すと前の表示に戻ります。

他の機器のソース（音源）名を変える

接続した機器に合わせて、表示窓に表示させるソース（音源）名を変えることができます。
ただし、MD に録音中はソース（音源）名を変えることができません。

1 USB/LINE を押して名前を変えるソース（音源）を選ぶ

USB/LINE を押すごとに次のように切り換わります。

USB ➡ LINE ➡ DIGITAL IN

- 選んだソース（音源）名が表示窓に表示されます。

2 USB/LINE を 2 秒以上押す

表示窓に「NAME CHANGE」が表示されたら指を離します。

例：「USB」を選んだとき

NAME CHANGE
U S B ← 点滅
OK?→SET

3 ▶▶/▶▶| または |◀◀/◀◀ を押してソース（音源）の名前を選ぶ

または

|◀◀/◀◀

USB のとき：
「USB」、「PC」の中から選びます。

LINE のとき：
「LINE」、「TAPE」、「DBS *」、「VTR」、「TV」、「GAME」の中から選びます。

* DBS
(Direct Broadcasting Satellite の略)（ダイレクト ブロードキャスティング サテライト）
CS/BS チューナーをさします。

DIGITAL IN のとき：
「DIGITAL IN」、「DBS-DIGITAL」の中から選びます。

4 SET を押す

ソース（音源）名が変更され、表示窓に表示されます。

録音をする前に

本機のMDで、CDやラジオまたは接続した他の機器の音声を録音するとき、それぞれのソース（音源）ごとに次のような録音ができます。

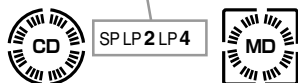
ステレオ長時間録音（MDLP）

従来モノラル音声でしかできなかったMDの２倍長録音が、本機ではステレオ音声のままで２倍長または４倍長の長時間録音ができます。
録音するソース（音源）や録音方式に関係なく設定でき、各ソース（音源）の録音と組み合わせて使用できます。また、１枚のMDに違う録音モード（SP：標準／LP2：２倍長／LP4：４倍長）の曲を混ぜて録音することもできます。

録音モード（SP／LP2／LP4）は、リモコンのREC TIME を押して設定します。

REC TIME

REC TIME を押すごとに表示窓の録音モード表示の「SP」、「LP2」または「LP4」のいずれかが点灯します。

録音モード表示

SP：標準の長さで録音されます。録音できる時間は、MDのパッケージに表示されている時間と同じです。
LP2：２倍長時間録音されます。録音できる時間は、MDのパッケージに表示されている時間の２倍になります。
LP4：４倍長時間録音されます。録音できる時間は、MDのパッケージに表示されている時間の４倍になります。
ラジオ放送の長時間録音などに使用するときに便利です。

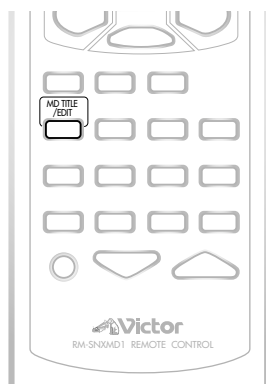
お知らせ

- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間（SP➡LP2➡LP4）になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。

ステレオ長時間録音をしたときのご注意

- **本機でステレオ２倍長時間録音または４倍長時間録音された曲は、MDLPに対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では無音で演奏されます。**
このため、ステレオ長時間録音された曲と標準で録音された曲を区別するために、ステレオ長時間録音された曲タイトルの頭に「LP：」を自動でつけます。また、「LP：」をつけないこともできます。「LP：」をつけない方法は、右の説明をご覧ください。
- MDの編集をするとき、録音モード（SP／LP2／LP4）の異なる曲をつなげる（JOIN）ことはできません。

曲タイトルの頭に「LP：」をつけない

ステレオ長時間録音された曲の曲タイトルの頭に「LP：」をつけない設定にすることができます。
お買い上げ時は、「LP：」を自動でつける設定になっています。
「LP：」はMDLPに対応していない機器で演奏すると表示されますが、本機およびMDLPに対応している機器では表示されません。
電源が「入」のときに操作します。

「（LP：） OFF」が表示されるまで MD TITLE/EDIT を押し続ける

表示されたら指を離します。数秒後にソース（音源）の表示に戻ります。
設定以後、ステレオ長時間録音した曲の曲タイトルの頭には「LP：」はつきません。

- 「LP：」を自動でつける設定に戻すときは、「（LP：）ON」が表示されるまでMD TITLE/EDITを押し続けます。
設定以後、ステレオ長時間録音された曲のタイトルの頭に「LP：」が自動でつきます。

お知らせ

- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。

CDの倍速録音

本機では、CDをMDに等速／2倍速／4倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/2または約1/4の時間で録音することができます。

- **4倍速録音は録音モードが「SP（標準)」のときだけ可能です。**

倍速録音について（HCMS）

2倍速録音または4倍速録音では、著作権保護のため倍速録音に関する規定があります。(➡ 95 ページ参照)
この規定により本機では、一度倍速録音したCDの曲は録音開始から74分が経過しないと、再録音できません。74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、表示窓に再録音が可能になるまでの残り時間が表示されます。

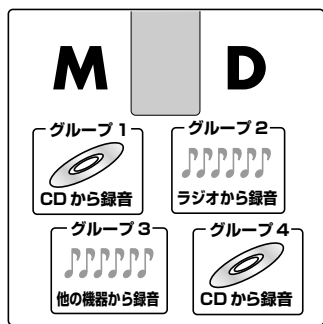
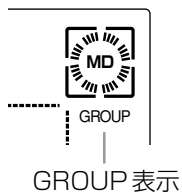
例：再録音が可能になるまでの時間が65分のとき

HCMS CANNOT
COPY
about 65min

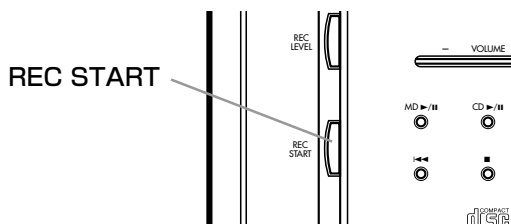
CDをプログラムして倍速で録音するとき、プログラムの中に同じ曲が入っていると、倍速録音の規定により、録音が途中で停止します。同じ曲をプログラムして録音するときは、等速で録音してください。

グループ録音

本機ではいずれのソース（音源）から録音したときも、録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます（お買い上げ時の設定)。

グループ録音のイメージ図

グループとして録音しているときは、表示窓のGROUP表示が点灯します。

- グループとして録音したくないときは、それぞれの録音のページをご覧ください。

ワンタッチ録音

MDの録音を開始するときは、本体のREC STARTを押すだけで録音が始まるワンタッチ録音方式です。
録音したいときに、すぐ録音開始できます。

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

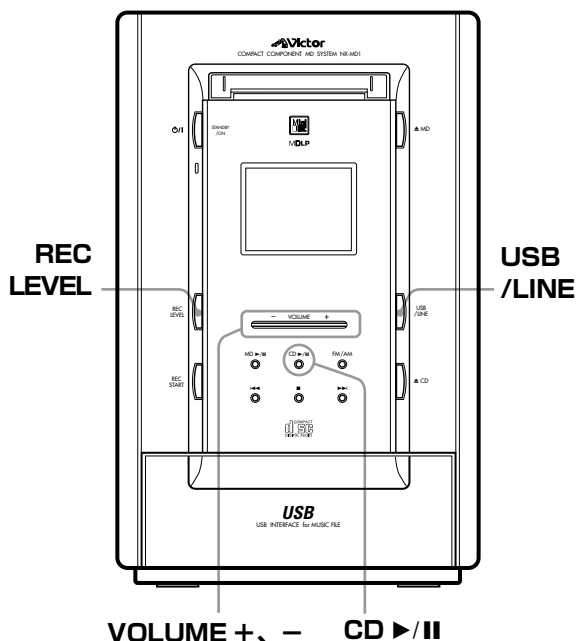
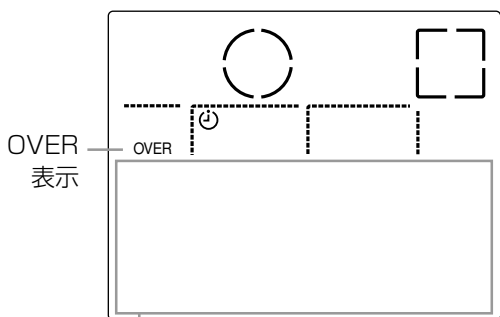
- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動的にトラックマークがつきます。
  CD以外のソース（音源）の録音中は、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークがつきます。
- 手動でトラックマークをつけるときは、録音中につけたいところでリモコンのSETを押してつけます。
  CDを録音しているときは、トラックマークを手動でつけることはできません。

知っておいてほしいこと

- MDには最大254曲まで録音することができます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して録音されます。
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE（➡ 84 ページ参照）で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音レベルは自動調節されます。ただし、接続した他の機器やCDの録音（入力）レベルは、調節することができます。(➡ 46 47 ページ参照)
- 録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。
- **録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」表示中は注意してください。MDが演奏できなくなる恐れがあります。**
- MDの録音残量時間は、録音モードによって異なります。
  録音するMDを入れ、ソース（音源）をMDにして停止状態にします。次にリモコンのDISP./CHARAを押して、録音残量時間を確認してから録音してください。

録音（入力）レベルを調節する

ソース（音源）がCDやDIGITAL INまたはLINEからの録音（入力）レベルを調節することができます。
録音（入力）レベルは、数種類のソース（音源）からの音を同じMDに録音するときなど、ソース（音源）の違いによる録音レベルのバラツキを整えるときや録音（入力）レベルが大きすぎたり小さすぎるときに調節します。
録音（入力）レベルが大きすぎるときは、表示窓のOVER表示が点灯し「Level OVER！」が表示されます。

本体で操作します。

表示窓について

お知らせ

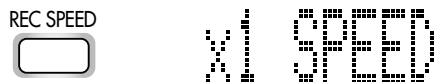
- ソース（音源）がラジオまたはUSBのときにREC LEVELを押すと「CANNOT ADJUST REC LEVEL」が表示されます。

CDの録音（入力）レベルを調節する

1 レベルを調節するCDを入れ、CD ▶/II を押してソース（音源）をCDにする

CD ▶/II

- 録音（入力）レベルは、演奏中、停止中、録音中に調節できます。

2 リモコンのREC SPEEDを押して録音速度を「x1 SPEED」にする

- CDの録音（入力）レベルは、録音スピードが等速（x1 SPEED）のときだけ調節できます。他の録音スピードのときは「CANNOT ADJUST REC LEVEL」が表示されます。

3 本体のREC LEVELを押す

REC LEVEL

REC LEVEL
0dB
ADJUST VOL.

- 本体のVOLUME＋、−で録音（入力）レベルが調節できるようになります。

4 本体のVOLUME＋または−を押してレベルを調節する

録音（入力）レベルは、−12dB〜0〜＋12dB（2dB単位）の範囲で調節できます（お買い上げ時は0dBに設定されています）。

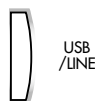
- 設定した録音（入力）レベルは、CDの録音が終了すると0dBに戻ります。
- 設定した録音（入力）レベルは、録音スピードを2倍速または4倍速に変更する、MDの取り出し、CDトレイの開閉、ソース（音源）を変える、電源を「切」にするのいずれかの操作をすると0dBに戻ります。

5 録音（入力）レベルの設定が終了したら、本体のREC LEVELを押す

REC LEVEL

設定した録音（入力）レベルが数秒間表示され、演奏中は通常の音量に戻ります。
本体のVOLUME＋、−が音量調節用に戻ります。

DIGITAL INの録音（入力）レベルを調節する

1 USB/LINE を押して「DIGITAL IN」を選ぶ

USB /LINE

- ソース（音源）名を変えたときは、変えたソース（音源）名で表示されます。

2 本体の REC LEVEL を押す

REC LEVEL

AUTO MODE
MANUAL MODE
ADJUST VOL.

- 本体の VOLUME ＋、－で録音（入力）レベルのモード設定ができるようになります。

3 本体の VOLUME ＋または－を押して「AUTO MODE」または「MANUAL MODE」を選ぶ

－ VOLUME ＋

選んだモードが点滅表示されます。

「AUTO MODE」を選んだとき ➡ 手順４へ進む

録音（入力）レベルが＋ 12dB に設定され、「LEVEL OVER」が表示されるごとに自動で録音（入力）レベルを－ 2dB ずつ下げていきます。

- 「AUTO MODE」で設定された録音（入力）レベルは、ソース（音源）を変えたり電源を「切」にしても保持されますが、再度「AUTO MODE」の設定をすると＋ 12dB に戻ります。

「MANUAL MODE」を選んだとき ➡本体のREC LEVELを押してから本体の VOLUME ＋または－を押してレベルを調節する

46 ページ「CDの録音（入力）レベルを調節する」の**手順３**と同じです。

- 「MANUAL MODE」で設定した録音（入力）レベルは、録音の停止、MDの取り出し、ソース（音源）を変える、電源を「切」にするのいずれかの操作をすると 0dB に戻ります。

4 録音（入力）レベルの設定が終了したら、本体の REC LEVEL を押す

REC LEVEL

本体のVOLUME＋、－が音量調節用に戻ります。

LINE IN の録音（入力）レベルを調節する

1 USB/LINE を押して「LINE」を選ぶ

USB /LINE

ソース（音源）名を変えたときは、変えたソース（音源）名で表示されます。

2 本体の REC LEVEL を押す

REC LEVEL

LINE INPUT
LEVEL 1
ADJUST VOL.

現在の設定が点滅表示されます。

- 本体の VOLUME ＋、－で録音（入力）レベルのモード設定ができるようになります。

3 本体の VOLUME ＋または－を押して「LEVEL 1」または「LEVEL 2」を選ぶ

－ VOLUME ＋

選んだモードが点滅表示されます。

LEVEL 1：録音（入力）レベルを大きくするときに選びます。
LEVEL 2：録音（入力）レベルを小さくするときに選びます。

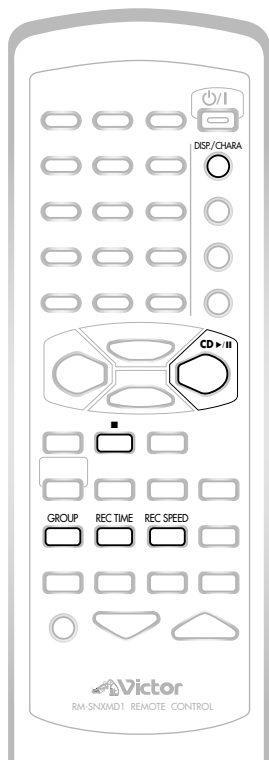
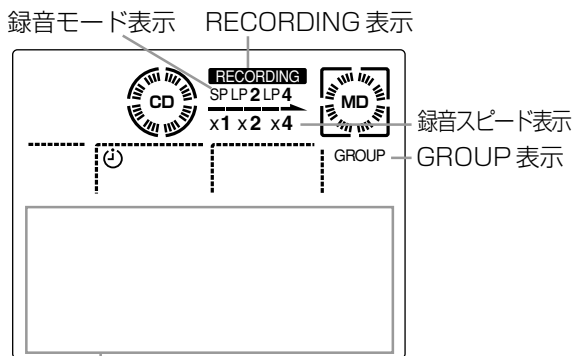
- 設定した録音（入力）レベルは、ソース（音源）を変たり電源を「切」にしても保持されます。

4 入力（録音）レベルの設定が終了したら、本体の REC LEVEL を押す

REC LEVEL

本体のVOLUME＋、－が音量調節用に戻ります。

CD を録音する

CD をグループとして録音します。CD の音はデジタル音声のまま録音されます。
1 曲だけの録音や曲順を指定して録音（プログラム録音）、ランダムな曲順に録音ができます。

表示窓について

CD の曲番号、MD の曲番号、演奏時間、
MD の録音残量時間などの表示

お知らせ

- CD を録音しながらタイトルをつけることができます。（➡ 54 56 ページ参照）
- CDの録音レベルを調節してから録音するときは、「録音（入力）レベルを調節する」（➡ 46 ページ）をご覧ください。
- 録音中は、ドアの開閉をしないでください。
音飛びの原因となります。

1 録音用 MD を MD 挿入口に入れる

2 CD の準備をする

- CDを入れ、CD ▶/IIを押してから、■を押します。ソース（音源）をCDにし、停止状態にします。

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

REC TIME

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 44 ページ参照）をご覧ください。

4 REC SPEEDを押して録音スピードを設定する

REC SPEED

ボタンを押すごとに録音スピード表示は次のように切り換わります。

x 1 ➡ x 2 ➡ x 4
（等速）（2倍速）（4倍速）

- **録音スピードの「× 4（4 倍速）」は、録音モードが「SP（標準）」のときだけ選べます。**
- 録音スピードを「x 2（2 倍速）」または「x 4（4 倍速）」に設定したときは、録音中の CD の音は聞くことはできません。
- 録音スピードを「x 2（2 倍速）」または「x 4（4 倍速）」に設定したときの録音（入力）レベルは、固定されます。
- 録音スピードを「x 2（2 倍速）」または「x 4（4 倍速）」に設定したときは、リピート演奏の録音はできません。録音を開始すると自動的にリピート演奏が解除されます。

5 本体の REC START を押す

REC START

表示窓のRECORDING表示が点灯し、CDの演奏とMDの録音が同時に始まります。
最後の曲の録音が終了するか、MDの録音残量時間が無くなると録音が自動停止します。

例：録音モードがSP（標準）で録音スピードがx4（4倍速録音）の録音をするとき

- MDの録音残量時間は、録音モードによって異なります。

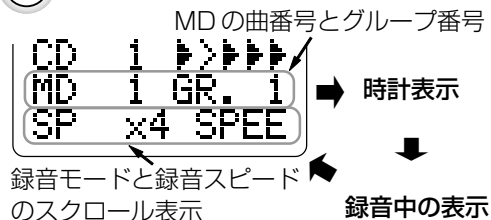
グループとして録音したくないとき

GROUP

手順5のREC STARTを押す前にリモコンのGROUPを押します。
表示窓に「GROUP OFF」が表示され、GROUP表示が消灯します。

表示を変える

DISP./CHARA

DISP./CHARAを押します。
DISP./CHARAを押すごとに次のように変わります。

- グループとして録音していないとき（GROUP表示消灯）は、グループ番号は表示されません。

録音を途中で止める

■を押します。
CDとMDが同時に停止します。
- 本体の■も同様です。

演奏中の曲だけを録音する（1曲録音）

REC START

録音したい曲が演奏中（または一時停止中）に本体の REC START を押す

演奏中の曲の頭に戻り、設定されている録音モードと録音スピードでその曲だけを録音します。

- 1曲録音が終わると、CDとMDが自動停止します。

CDをプログラムして録音する

1. 録音用 MD を MD 挿入口に入れる

2. CD ▶/❚❚ を押してから ■ を押す

3. 録音したい CD の曲をプログラムする

（➡ 26 ページ参照）

- プログラムが終わってもCD ▶/❚❚は押さないでください。

4. 48 49 ページの手順３～５の操作をする

プログラムした順に録音されます。
プログラムの最後の曲の演奏が終わると、録音が自動停止します。

- 48ページ**手順4**の録音スピードは「x 1（等速）」または「x 2（2倍速）」に設定します。「x 4（4倍速）」に設定すると「CD PROGRAM CANNOT x4 RECORDING」が表示され録音できません。

<ご注意>

- 録音スピードが2倍速でプログラム録音するとき、同じ曲がプログラムされていると、その曲の2回目の録音時に再録音が可能になるまでの残り時間が表示され、録音が途中で終了します。これは著作権保護のためです。（➡ 95 ページ参照）

CDをランダムな曲順で録音する

1. 録音用 MD を MD 挿入口に入れる

2. CD ▶/❚❚ を押してから ■ を押す

3. CD のランダム演奏のモードにする

（➡ 28 ページ参照）

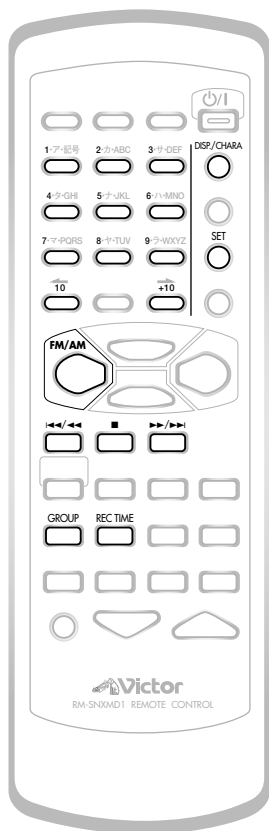
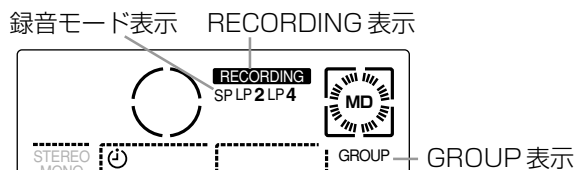
- CD ▶/❚❚ は押さないでください。

4. 48 49 ページの手順３～５の操作をする

ランダムな曲順で録音されます。
ランダム演奏の最後の曲が終わると、録音が自動停止します。

- 48ページ**手順4**の録音スピードは「x 1（等速）」または「x 2（2倍速）」に設定します。「x 4（4倍速）」に設定すると「CD RANDOM CANNOT x4 RECORDING」が表示され録音できません。

ラジオの音声を録音する

1 回の録音を 1 つのグループとして録音します。
ラジオの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

表示窓について

お知らせ

- 本機は、AM ステレオ放送には対応しておりません。（AM 放送はモノラルです）
- ラジオの録音レベルを調節することはできません。

1 録音用 MD を MD 挿入口に入れる

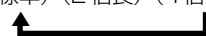
2 録音する放送局を受信する

FM/AM を押して FM または AM を選び、放送局を受信します。（「ラジオを聞く」➡ 21 ページ参照）

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

REC TIME

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 44 ページ参照）をご覧ください。

4 本体の REC START を押す

REC START

表示窓のRECORDING表示が点灯し、録音が開始します。

例：FM 放送のプリセット番号 6 の放送局を録音するとき

- MDの録音残量時間は、録音モードによって異なります。
- MDの録音残量時間が無くなると、録音が自動停止します。

5 録音する放送が終わったら、■を押して録音を終了する

グループとして録音したくないとき

GROUP

手順4のREC STARTを押す前にリモコンのGROUPを押します。
表示窓に「GROUP OFF」が表示され、GROUP表示が消灯します。

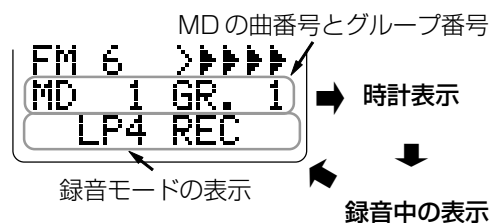
表示を変える

DISP./CHARA

DISP./CHARAを押します。
DISP./CHARAを押すごとに次のように変わります。

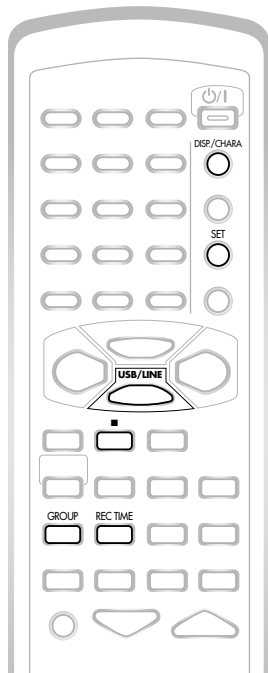
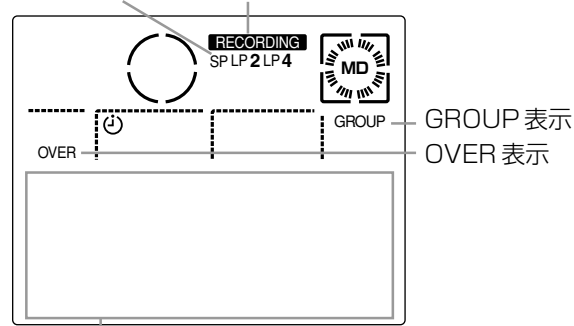
• グループとして録音していないとき（GROUP表示消灯）は、グループ番号は表示されません。

トラックマークについて

SET

無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
手動でトラックマークをつけるときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押します。表示窓に「TRK MARKING」が数秒間表示されます。

• DISP./CHARAを押してMDの曲番号とグループ番号を表示させておくと、トラックマークを簡単に確認することができます。

他の機器の音声を録音する（サウンドシンクロ録音）

LINE IN 端子または OPTICAL DIGITAL IN 端子に接続した機器からの音声を録音します。
（USB AUDIO 端子に接続した機器からの音は録音できません。）
1 回の録音を 1 つのグループとして録音します。
録音は、接続した機器の演奏に合わせて MD の録音を開始するサウンドシンクロ録音になります。
LINE IN端子に接続した機器の音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音され、OPTICAL DITIGAL IN 端子に接続した機器の音声はデジタル信号のまま録音されます。

表示窓について

お知らせ

- 録音開始前または録音中、表示窓に「Level OVER！」が表示されOVER表示が点灯するときは、録音（入力）レベルが大きすぎます。そのまま録音すると、音のひずんだ録音になります。
「録音（入力）レベルを調節する」（➡ 47 ページ参照）の操作をして、録音（入力）レベルを調節してください。

1 録音用 MD を MD 挿入口に入れる

2 USB/LINE を押して「LINE」または「DIGITAL IN」を選ぶ

USB/LINE

USB/LINE を押すごとに次のように切り換わります。

USB ➡ LINE ➡ DIGITAL IN

- 選んだソース（音源）名が表示窓に表示されます。ソース（音源）名を変えたときは、変えたソース（音源）名で表示されます。

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

REC TIME

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 44 ページ参照）をご覧ください。

4 本体の REC START を押す

REC START

表示窓のRECORDING表示が点滅し、録音待機状態になります。

例：LINE からの音を録音するとき
（録音待機中の表示）

SOUND SYNC.
START!

⬇

- MDの録音残量時間は、録音モードによって異なります。

5 録音するソース（音源）を演奏状態にする

表示窓のRECORDING表示が点灯に変わり、ソース（音源）の演奏開始に合わせて録音が開始します（サウンドシンクロ録音）。

- MDの録音残量時間がなくなると、録音が自動停止します。

6 録音するソース（音源）の演奏が終わったら、■を押して録音を終了する

サウンドシンクロ録音でのご注意

- サウンドシンクロ録音は、ソース機器の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
  接続した他の機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。このようなときは、手動で録音を始めてください。（右上の説明参照）
- 録音ソースの音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音が終了したMDの空白時間は約2秒になります。
- DATからの音をサウンドシンクロ録音すると、録音を始めた曲番号（トラックマーク）が2つつきますが、これは故障ではありません。JOIN機能（➡ 78ページ参照）でつないでください。

手動で録音を始めるとき

手順4のあとにMD ▶/❚❚を押します。手動で録音を開始することができます。

USBを選んで本体のREC STARTを押すと

USB AUDIO端子に接続したパソコンからの音声は録音できません。USBを選んで本体のREC STARTを押すと「USB CANNOT RECORDING！」が数秒間表示されます。

U S B
CANNOT
RECORDING!

グループとして録音したくないとき

GROUP

手順4のREC STARTを押す前にリモコンのGROUPを押します。表示窓に「GROUP OFF」が表示され、GROUP表示が消灯します。

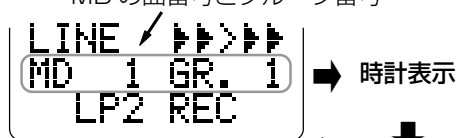
表示を変える

DISP./CHARA

DISP./CHARAを押します。DISP./CHARAを押すごとに次のように変わります。

- グループとして録音していないとき（GROUP表示消灯）は、グループ番号は表示されません。

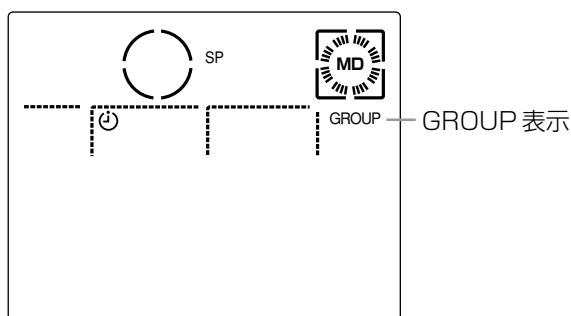
トラックマークについて

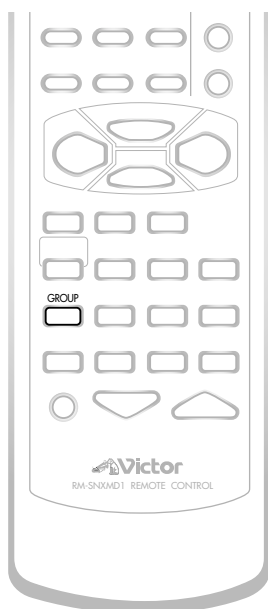
SET

無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
手動でトラックマークをつけるときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押します。表示窓に「TRK MARKING」が数秒間表示されます。

- DISP./CHARAを押してMDの曲番号とグループ番号を表示させておくと、トラックマークを簡単に確認することができます。

MD にタイトル入力や編集をする前に

編集モードについて

本機でMDにタイトルをつけたり編集の操作をするときには、**グループ編集モード**と**通常編集モード**があります。
グループ編集モードのときは、表示窓のGROUP表示が点灯しています。（お買い上げ時の設定）
通常編集モードのときは、表示窓のGROUP表示が消灯しています。

編集モードを切り換える

ソース（音源）がMDのときに、リモコンのGROUPを押します。
GROUPを押すごとにGROUP表示の消灯と点灯が切り換わります。

つけられるタイトルの種類

リモコンを使って、ディスクタイトル、グループタイトル、曲タイトルがつけられます。

- **ディスクタイトルは編集モード、停止中、演奏中、CDの録音中に関係なくつけられます。**
- **グループタイトルはグループ編集モード（表示窓にGROUP表示が点灯）のときに、停止中、演奏中、録音中に関係なくつけられます。**
- **曲タイトルは、編集モード、停止中、演奏中、CDの録音中に関係なくつけられます。**

MDに入力できる文字数について

MDに入力できる文字数はスペース（空白）も含み、1枚のMDにつき、最大1792文字（英数字・記号）、**1タイトルにつき最大61文字**です。ただし、MDの記録方式の制約により、実際に入力できる文字数はこれより少なくなります。カタカナを使用したときや曲数が多いときは、入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：

- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつのタイトルが入力できます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナ10文字ずつのタイトルが入力できます。

タイトルリザーブ機能

CDを録音中（1曲録音は除く）は、録音中に16曲分の曲タイトルを先行して入力できます（**タイトルリザーブ機能**）。ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、はみ出したタイトルは取り消されます。

MD編集機能の紹介

編集モードに関係なく

グループを作る（FORM GROUP）

グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。1曲でもグループにすることができます。（➡ 62 ページ参照）

全曲を消す（ALL ERASE）

MD の内容をすべて消去します。（➡ 84 ページ参照）

グループ編集モードのとき

グループに登録する（ENTRY GROUP）

グループとして管理されていない曲をいずれかのグループに登録します。（➡ 64 ページ参照）

グループを分割する（DIVIDE GROUP）

1 つのグループを 2 つのグループに分割します。（➡ 66 ページ参照）

グループをつなげる（JOIN GROUP）

2 つのグループを 1 つのグループにまとめます。（➡ 68 ページ参照）

グループを移動する（MOVE GROUP）

グループ単位で曲を移動します。（➡ 70 ページ参照）

グループを解除する（UNGROUP）

指定したグループのグループ管理を解除します。（➡ 72 ページ参照）

全てのグループを解除する（UNGROUP ALL）

MD内の全てのグループのグループ管理を解除します。（➡ 73 ページ参照）

グループで曲を消す（ERASE GROUP）

選んだグループ内の全曲を消します。（➡ 74 ページ参照）

通常編集モードのとき

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中や必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。（➡ 76 ページ参照）

曲をつなげる（JOIN）

トラックマークを削除して、指定した曲とその 1 つ前の曲を1つの曲にまとめます。（➡ 78 ページ参照）

曲を移動する（MOVE）

曲を移動します。（➡ 80 ページ参照）

曲を消す（ERASE）

消したい曲を一度に15曲まで選んで消すことができます。（➡ 82 ページ参照）

知っておいてほしいこと

- **グループ録音された MD をグループ機能に対応していない他の機器で演奏すると、ディスクタイトル表示にグループ管理のための数字・記号が表示されます。この数字・記号を編集により削除するとグループ登録が消去されます。ご注意ください。**
- 操作の途中でリモコンの MD TITLE/EDIT を押すと編集操作が解除されます。
- タイトル入力の操作をしたあと⏏ MDを押してMDを取り出すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなる恐れがあります。
- 再生専用MDにタイトルをつけたり編集することはできません。タイトルまたは編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっている MD にはタイトルをつけたり編集することはできません。タイトルまたは編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MD が停止状態でプレイモードが「PROGRAM」または「RANDOM」のときに、MD TITLE/EDIT を押すと通常演奏（NORMAL）になり、タイトル入力や編集操作ができます。
  プログラムされているときは、タイトル入力以外の MD の編集操作をするとプログラムの内容が削除されます。
- MD がプログラム演奏中またはランダム演奏中は MD TITLE/EDITを押してもタイトル入力はできません。
- 62 文字以上のタイトルが入力されている MD は、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- グループ録音されていないMDを編集する場合、グループ編集モード（表示窓にGROUP表示が点灯）で編集操作をしても、グループ編集モードの各項目は表示されません。通常編集モードの各項目が表示されます。

タイトルをつける

ディスクタイトルをつける

MDの状態（停止／演奏／CDを録音中）や編集モードに関係なく操作できます。

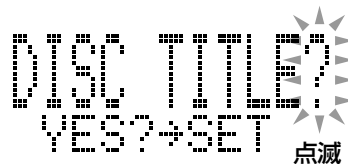
1 ディスクタイトルをつけるMDをMD挿入口に入れる

- CDを録音中は、この手順は必要ありません。

2 MD TITLE/EDITを押す

- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTERを押してからMD TITLE/EDITを押します。

停止中：「DISC TITLE？」が表示されます。

➡ 手順3へ

演奏中：演奏中の曲番号と「TITLE？」が表示されます。

⏮/◀◀を押して「DISC TITLE？」を選ぶ

➡ 手順3へ

録音中：録音中の曲番号と「TITLE？」が表示されます。

⏮/◀◀を押して「DISC TITLE？」を選ぶ

➡ 手順3へ

ディスクタイトルのときは 58 ページの手順3へ

編集操作を途中で止めるには

60 61 ページ**手順5**のENTERを押す前にMD TITLE/EDITを押します。編集操作が解除されます。

曲タイトルをつける

MDの状態（停止／演奏／CDを録音中）や編集モードに関係なく操作できます。

1 曲タイトルをつけるMDをMD挿入口に入れる

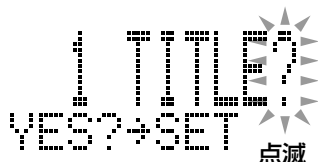
• CDを録音中は、この手順は必要ありません。

2 MD TITLE/EDITを押す

• MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTERを押してからMD TITLE/EDITを押します。

停止中：「DISC TITLE？」が表示されます。

▶▶/▶▶I を押してタイトルをつける曲を選ぶ
➡ 手順3へ

例：1曲目にタイトルをつけるとき

演奏中：演奏中の曲番号と「TITLE？」が表示されます。

▶▶/▶▶I を押してタイトルをつける曲を選ぶ
➡ 手順3へ

録音中：録音中の曲番号と「TITLE？」が表示されます。

▶▶/▶▶I を押してタイトルをつける曲を選ぶ
➡ 手順3へ

• 録音中の曲にタイトルをつけるときは、この操作は必要ありません。
• ▶▶/▶▶Iを押しすぎてタイトルをつけたい曲番号を過ぎてしまったときは、I◀◀/◀◀を押して番号を戻します。

曲タイトルのときは
59ページの手順3へ

グループタイトルをつける

MDの状態（停止／演奏／CDを録音中）に関係なく、**グループ編集モード（GROUP表示点灯）**のときに操作します。

1 グループタイトルをつけるMDをMD挿入口に入れる

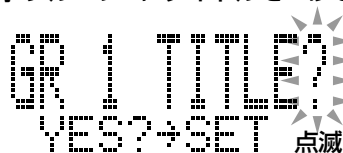
• CDを録音中は、この手順は必要ありません。
• **表示窓のGROUP表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、リモコンのGROUPを押します。**

2 MD TITLE/EDITを2回押す

• MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTERを押してからMD TITLE/EDITを2回押します。

停止中：「GR 1 TITLE？」が表示されます。
• 1曲目がグループ管理されていないときは、「GR －－ TITLE？」が表示されます。

GROUP >>Iを押してタイトルをつけるグループを選ぶ ➡ 手順3へ

例：グループ1にタイトルをつけるとき

演奏中：演奏中のグループ番号と「TITLE？」が表示されます。

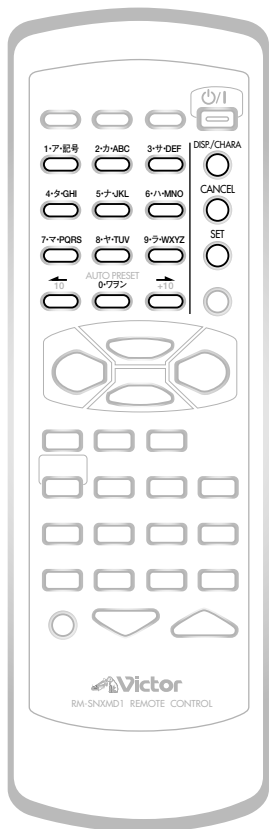
GROUP >>Iを押してタイトルをつけるグループを選ぶ
➡ 手順3へ

録音中：録音中のグループ番号と「TITLE？」が表示されます。

➡ 手順3へ

• 録音中のグループタイトルだけつけることができます。

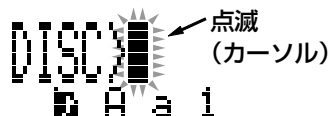
• 停止中または演奏中にGROUP >>Iを押しすぎてタイトルをつけたいグループ番号を過ぎてしまったときは、GROUP I<<を押して番号を戻します。

グループタイトルのときは
59ページの手順3へ

ディスクタイトルをつける（つづき）

3 SET を押す

SET

文字入力表示が表示されます。

点滅（カーソル）

• 演奏中は、**手順5**のENTERを押すまでMDの全曲がくり返し演奏されます。

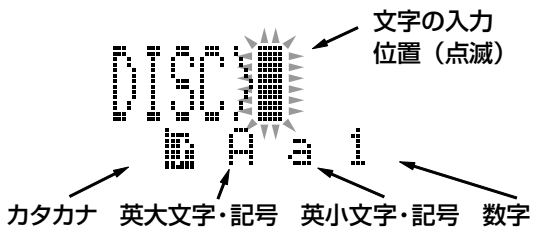
4 タイトルを入力する（最大61文字まで）

文字の種類を選ぶとき

DISP./CHARA

DISP./CHARA *を押す

押すごとに入力する文字の種類が変わります。下図はカタカナ入力です。

例：ディスクタイトルの文字入力表示のとき

* CHARAはCHARACTER（キャラクター）（文字や記号）の略です。

文字の入力位置を移動するとき

10 または +10 を押します。

スペース（空白）を入れるときは、+10 を押します。または記号の「スペース」を選びます。

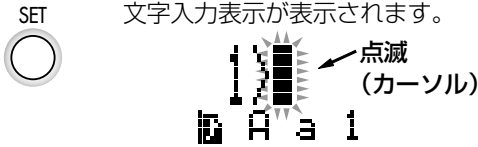
お知らせ

• カタカナ以外の２文字でディスクタイトルをつけるときは、はじめに +10 でスペース（空白）を入力してから2文字を入力してください。

ディスクタイトルのときは
 ページの手順５へ

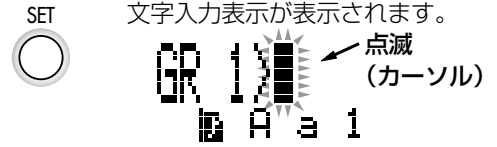
曲タイトルをつける（つづき）

3 SET を押す

文字入力表示が表示されます。

• 演奏中は、**手順5**のENTERを押すまでその曲がくり返し演奏されます。

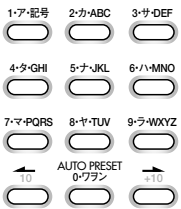
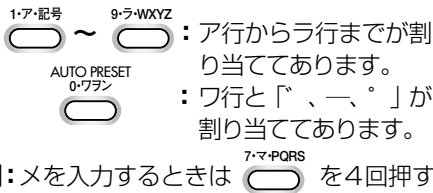
グループタイトルをつける（つづき）

3 SET を押す

文字入力表示が表示されます。

• 演奏中は、**手順5**のENTERを押すまでグループ内の全曲がくり返し演奏されます。

これらの操作をくり返して文字を入力します。

文字を選ぶとき

1～0を押す

1・ア・記号　2・カ・ABC　3・サ・DEF
4・タ・GHI　5・ナ・JKL　6・ハ・MNO
7・マ・PQRS　8・ヤ・TUV　9・ラ・WXYZ
10　AUTO PRESET 0・ワヲン　+10

カタカナ入力

1・ア・記号 ～ 9・ラ・WXYZ：ア行からラ行までが割り当ててあります。

AUTO PRESET 0・ワヲン：ワ行と「゛、―、゜」が割り当ててあります。

例：メを入力するときは 7・マ・PQRS を4回押す。

英大文字・英小文字入力

数字キーの上に印刷してある記号と英文字が入力できます。

記号は 1・ア・記号 にあります。

例：Kを入力するときは 5・ナ・JKL を2回押す。

• 文字を間違えたときは、CANCELを押します。

途中の文字を消したいときは、10 でその文字にカーソルを合わせCANCELを押します。

• 入力できる文字の詳しい内容は、下の「リモコンの文字配列表」をご覧ください。

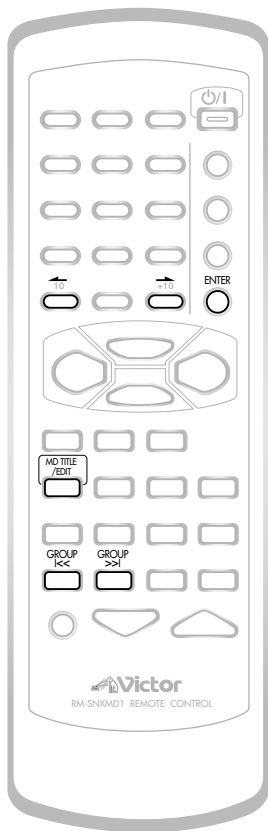
リモコンの文字配列表

ボタン	数字	カ　ナ	英大	英小
1・ア・記号	1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*
2・カ・ABC	2	カキクケコ	ABC	abc
3・サ・DEF	3	サシスセソ	DEF	def
4・タ・GHI	4	タチツテトッ	GHI	ghi
5・ナ・JKL	5	ナニヌネノ	JKL	jkl
6・ハ・MNO	6	ハヒフヘホ	MNO	mno
7・マ・PQRS	7	マミムメモ	PQRS	pqrs
8・ヤ・TUV	8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv
9・ラ・WXYZ	9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz
0・ワヲン	0	ワヲン゛ ― ゜		

＊記号で表示するキャラクター

□(スペース)	!	”	#	$	%	&
’	(	)	＊	＋	,	－	.	／	:
;	<	＝	>	?	@	＿	`

曲タイトルのときは
61 ページの手順5へ

グループタイトルのときは
61 ページの手順5へ

ディスクタイトルをつける（つづき）

5 ENTER を押す

MD が停止中または演奏中のとき：
- 1 曲目のタイトル入力表示になります。演奏中は 1 曲目が演奏されます。

CD を録音中のとき：
- ENTER を押しても録音は続きます。
- CD を録音中（1 曲録音は除く）は、次の曲のタイトル入力表示になります。
  タイトルリザーブ機能（➡ 54 ページ参照）で録音中の曲タイトルを16曲分まで先行して入力することもできます。
- 録音が終了するまでにENTERを押さなかった場合、ディスクタイトルは無効になります。

6 続けてタイトルを入力するとき：

曲タイトルを入力するとき：

▶▶/▶▶I を押してタイトルをつける曲番号を選んでから「曲タイトルをつける」の**手順3～手順5**の操作をします。

グループタイトルを入力するとき:

グループ編集モード（GROUP 表示点灯）のときだけ続けてグループタイトルが入力できます。

MD TITLE /EDIT を 1 回押し、GROUP >>I を押してタイトルをつけるグループ番号を選んでから「グループタイトルをつける」の**手順3～手順5**の操作をします。

録音中は、録音中のグループのタイトルだけつけることができます。

タイトル入力を終了するとき：

ENTER を押す

MD の通常表示に戻ります。
- 本体の ⏏ MD を押すと、MD が出てくる前に「WRITING 」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲タイトルをつける（つづき）

5 ENTER を押す

ENTER

MD が停止中または演奏中のとき：

- 次の曲があるときは、次の曲のタイトル入力表示になります。演奏中は次の曲が演奏されます。
- 最後の曲にタイトルをつけたときは、最後の曲のタイトル入力表示になります。演奏中は、最後の曲がくり返し演奏されます。

CD を録音中のとき：

- ENTER を押しても録音は続きます。
- CD を録音中（1 曲録音は除く）は、次の曲のタイトル入力表示になります。
  タイトルリザーブ機能（➡ 54 ページ参照）で曲タイトルを16曲分まで先行して入力することもできます。
- 録音が終了するまでにENTERを押さなかった場合、その曲のタイトルは無効になります。

6 続けてタイトルを入力するとき：

曲タイトルを入力するとき：

▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀（CD を録音中は ▶▶/▶▶I ）を押してタイトルをつける曲番号を選んでから「曲タイトルをつける」の**手順３〜手順５**の操作をします。

ディスクタイトルを入力するとき

I◀◀/◀◀ を押して「DISC TITLE？」を表示させてから「ディスクタイトルをつける」の**手順３〜手順５**の操作をします。

グループタイトルを入力するとき：

グループ編集モード（GROUP 表示点灯）のときだけ続けてグループタイトルが入力できます。

MD TITLE /EDIT を 1 回押し、GROUP >> I または GROUP I << を押してタイトルをつけるグループ番号を選んでから「グループタイトルをつける」の**手順3〜手順5**の操作をします。
録音中は、録音中のグループのタイトルだけつけることができます。

タイトル入力を終了するとき：

ENTER

MD の通常表示に戻ります。

- 本体の ⏏ MD を押すと、MD が出てくる前に「WRITING 」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

グループタイトルをつける（つづき）

5 ENTER を押す

ENTER

MD が停止中または演奏中のとき：

- 次のグループがあるときは、次のグループのタイトル入力表示になります。演奏中はグループの 1 曲目が演奏されます。
- 最後のグループにタイトルをつけたときは、最後のグループのタイトル入力表示になります。演奏中は、最後のグループがくり返し演奏されます。

録音中のとき：

- ENTER を押しても録音は続きます。
- 録音中のグループタイトルだけつけることができます。
- 録音が終了するまでにENTERを押さなかった場合、そのグループのタイトルは無効になります。

6 続けてグループタイトルを入力するとき：（停止中または演奏中）

GROUP>>I またはGROUP I<<を押してタイトルをつけるグループ番号を選んでから「グループタイトルをつける」の**手順３〜手順５**の操作をします。

- ディスクタイトルまたは曲タイトルは続けて入力することができません。

タイトル入力を終了するとき：

ENTER

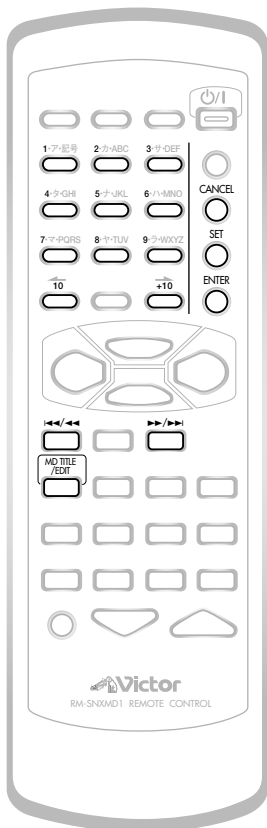
MD の通常表示に戻ります。

- 本体の ⏏ MD を押すと、MD が出てくる前に「WRITING 」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

グループを作る（FORM GROUP）

グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。1曲でもグループにすることができます。作ったグループ以降のグループ番号は自動的にふえます。

編集モードに関係なく操作できます。

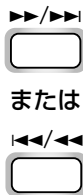
「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「FORM GR？」を選ぶ

- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTERを押してからMD TITLE/EDITを押して、もう一度「FORM GR？」を表示させます。

3 SET を押す

SET

4 ►►/►►| または |◄◄/◄◄ を押してグループにする最初の曲を選ぶ

►►/►►|

または

|◄◄/◄◄

演奏中は、選んだ曲がくり返し演奏されます。

- グループ管理されていない曲を選びます。
- 1〜10、＋10キーを押しても曲番号を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏されます。

例：曲番号３を選んだとき

グループを作ると…

例： 1曲目から12曲目までのグループされていない連続した曲の中で、3曲目から12曲目までをグループにすると、次のようになります。

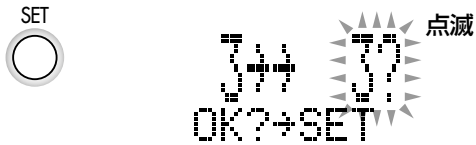
グループされていない連続した曲 ｜ **グループ 1**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 ｜ 13 14 15

⬇

1 2 ｜ 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 ｜ 13 14 15

　　 ｜ **グループ 1** ｜ **グループ 2**

5 SETを押す

- **手順4**で、いずれかのグループに管理されている曲が選ばれていると「GROUP TRACK」が表示されます。曲を選び直してください。

6 ►►/►►| または |◄◄/◄◄ を押してグループにする最後の曲を選ぶ

または

演奏中は、選んだ曲がくり返し演奏されます。

- グループ管理されていない曲を選びます。
- 1～10、＋10キーを押しても曲番号を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏されます。

例：曲番号12を選んだとき

- **手順5**で表示された曲番号を最後の曲にする場合（1曲だけグループにするとき）、この操作は必要ありません。

7 SETを押す

- **手順6**で、いずれかのグループに属している曲が選ばれていると「GROUP TRACK」が表示されます。曲を選び直してください。
- SETを押してから、グループにする曲を間違えたと気づいたときはCANCELを押します。**手順4**に戻ります。
- SETを押して「CANNOT FORM」が表示されたときは、右の説明をご覧ください。

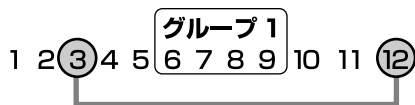
8 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

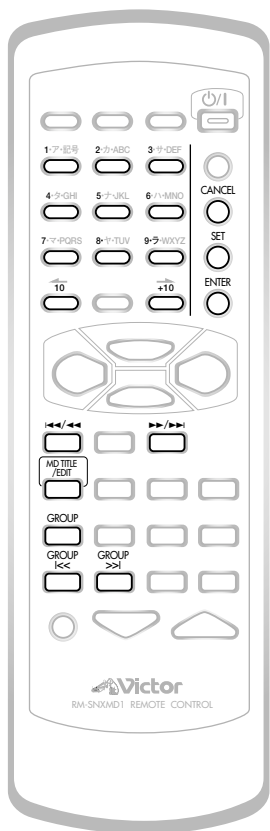
途中で操作を止めるときは

手順8のENTERを押す前に、MD TITLE/EDITを押します。

「CANNOT FORM」が表示されたとき

下の図のように、グループにする最初の曲（3曲目）と最後の曲（12曲目）はグループ管理されていなくても、間にグループがはさまれているとグループを作ることはできません。

このような場合は、「グループを解除する（UNGROUP）」（➡ 72 ページ参照）の操作をして、グループ1を解除してから、グループを作り直してください。

グループに登録する（ENTRY GROUP）

曲を選んで、指定したグループの最後の曲としてに登録します。
グループ編集モードのときに操作します。
「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでからを操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

• 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「ENTRY GR？」を選ぶ

• MD TITLE/EDIT を押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「ENTRY GR？」を表示させます。

3 SET を押す

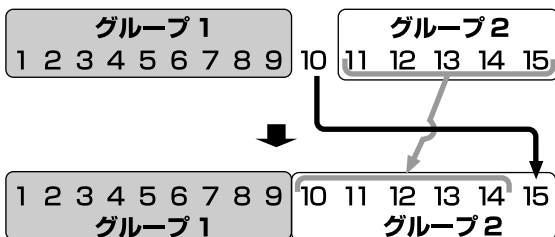
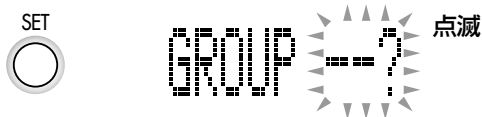
4 ►►/►►I または I◄◄/◄◄ を押してグループに登録する曲を選ぶ

►►/►►I
または
I◄◄/◄◄

演奏中は、選んだ曲がくり返し演奏されます。
• 1～10、＋10キーを押しても曲番号を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏されます。

例：10曲目を選んだとき

グループに登録すると…

例：10曲目がグループ2の最後の曲（15曲目）に登録されます。

5 SET を押す

- 選んだ曲がすでにグループ管理されているときは、そのグループ番号が表示されます。
- CANCEL を押すと**手順４**に戻ります。

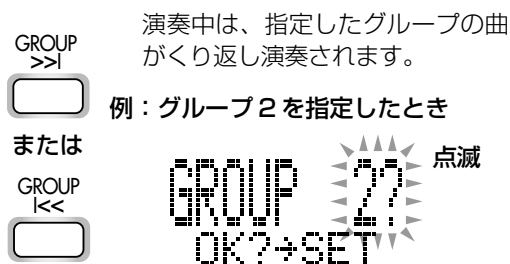
6 GROUP >>I またはGROUP I<< を押して曲を登録するグループを指定する

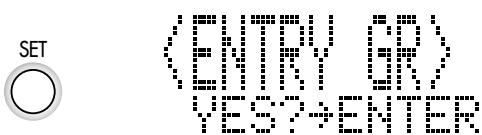
GROUP >>I

または

GROUP I<<

演奏中は、指定したグループの曲がくり返し演奏されます。

例：グループ２を指定したとき

- CANCEL を押すと**手順４**に戻りますが、曲番号は、指定したグループの最初の曲番号が表示されます。

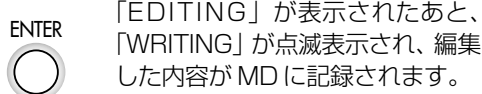
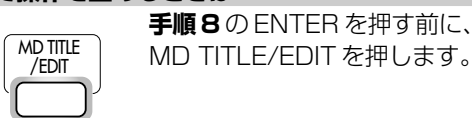
7 SET を押す

- SETを押してから、登録する曲やグループを間違えたことに気づいたときは、CANCELを押します。**手順４**に戻りますが、曲番号は、**手順６**で指定したグループの最初の曲番号が表示されます。
- SET を押して「CANNOT ENTRY」が表示されたときは、右の説明をご覧ください。

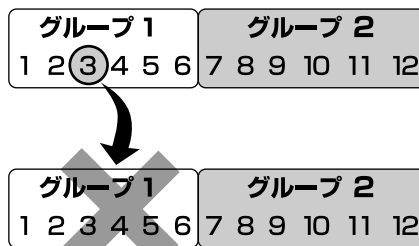
8 ENTER を押す

ENTER

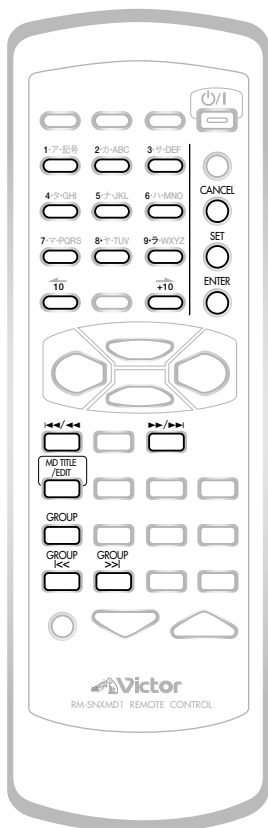
「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順８の ENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

「CANNOT ENTRY」が表示されたとき

すでにグループ管理されている曲を登録する場合、同じグループに登録することはできません。
下の図の場合、グループ１の３曲目の登録先がグループ１に指定されていると、「CANNOT ENTRY」が表示され、**手順６**の表示になります。
必ず違うグループを登録先に指定してください。

グループを分割する（DIVIDE GROUP）

複数の曲が管理されている1つのグループを2つのグループに分割します。グループタイトルがついているときは、分割されたグループにも分割前のグループタイトルがつきます。分割したグループ以降のグループ番号は自動的にふえます。

グループ編集モードのときに操作します。

「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

グループを分割すると…

例： 10曲あるグループ1を1曲目～5曲目のグループ1と、6曲目～10曲目のグループ2に分けます。分割する前のグループ2はグループ3になります。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

- 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「DIVIDE GR？」を選ぶ

- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「DIVIDE GR？」を表示させます。

点滅

3 SET を押す

SET

グループ番号（点滅）

グループの1曲目の曲番号（点滅）

GR 1 TRK 1

- グループ管理されていない曲が選ばれているときは、グループ番号が「－－」で表示されます。

4 GROUP >>I またはGROUP I<< を押して分割するグループを選ぶ

GROUP >>I

または

GROUP I<<

- 演奏中は選んだグループの1曲目の演奏が始まります。

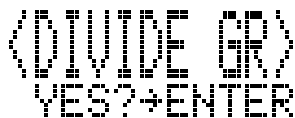
例：グループ1を選んだとき

GR 1 TRK 1

5 ▶▶/▶▶I を押して、分割の起点になる曲を選ぶ

演奏中は選んだ曲の演奏が始まります。
- グループの最初の曲を分割の起点にすることはできません。
- 分割の起点になる曲は、分割されたグループの最初の曲になります。
- ▶▶/▶▶I を押しすぎて分割したい起点の曲番号を過ぎてしまったときは、I◀◀/◀◀を押して番号を戻します。
- 1～10、＋10でも選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏されます。

例：6曲目を選んだとき

6 SET を押す

- SETを押してから、分割するグループや起点の曲を間違えたことに気づいたときは、CANCELを押します。**手順4** に戻ります。

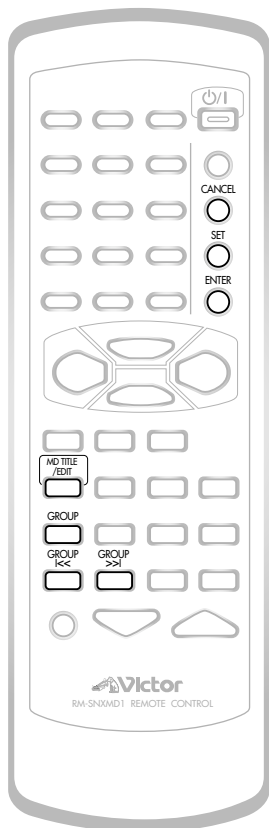
7 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順7 のENTERを押す前に、MD TITLE/EDITを押します。

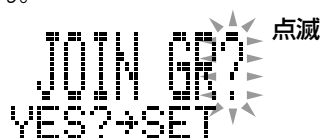
グループをつなげる（JOIN GROUP）

となりあう2つのグループを1つのグループにまとめることができます。グループタイトルがついているときは、前側のグループのグループタイトルになります。
グループをつなげるとつなげたグループ以降のグループ番号は自動的に減少します。
グループ編集モードのときに操作します。
「MD にタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

- 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「JOIN GR？」を選ぶ

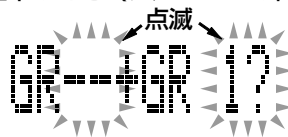
- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「JOIN GR？」を表示させせます。
- グループが１つしかないときは、「JOIN GR？」は表示されません。

点滅

3 SET を押す

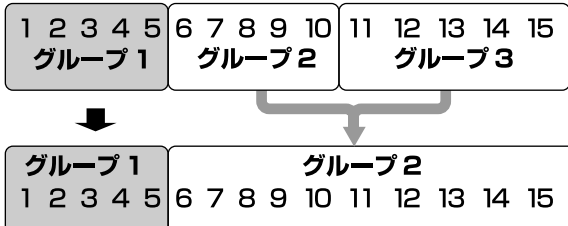
例：停止中のとき（グループ 1 の曲）

点滅

例：グループ３の曲を演奏中のとき

点滅

- グループ管理されていない曲が選ばれているときは、グループ番号が「－－」で表示されます。

グループをつなげると…

例： ６曲目からのグループ２と１１曲目からのグループ３をつなげると、６曲目から１５曲目までがグループ２としてまとめられます。

4 GROUP >>I またはGROUP I<< を押してつなげたいグループを選ぶ

または

- 演奏中は、選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

例：グループ２とグループ３をつなげるときは、グループ３を選びます。前のグループとつなげることができます。

5 SET を押す

- SETを押してから、つなげるグループを間違えたことに気づいたときは、CANCEL を押します。**手順４**に戻ります。
- SET を押して「CANNOT JOIN」が表示されたときは、右の説明をご覧ください。

6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順６の ENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

「CANNOT JOIN」が表示されたとき

となりあう２つのグループをつなげることができますが、下の図のグループ２とグループ３のようにグループとしてはとなりあっていても、間にグループ管理されていない曲があるときは、グループをつなげることはできません。

グループ1	グループ2		グループ3	グループ4	グループ5	グループ6
1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11	12 13 14	15 16 17	18 19 20	21 22 23 24

このような状態のグループをつなげるときは、「グループを移動する（MOVE GROUP）」（➡ 70 ページ参照）の操作をして、グループ番号も曲番号もとなりあうように移動してからグループをつなげてください。

グループを移動する（MOVE GROUP）

グループ単位で曲を移動します。
グループ編集モードのときに操作します。
「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

• 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「MOVE GR？」を選ぶ

• MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「MOVE GR？」を表示させます。
• グループが１つしかないときは、「MOVE GR？」は表示されません。

3 SET を押す

• 演奏中は、演奏中のグループ番号が点滅表示されます。
• グループ管理されてない曲が選ばれているときは、グループ番号が「－－」で表示されます。

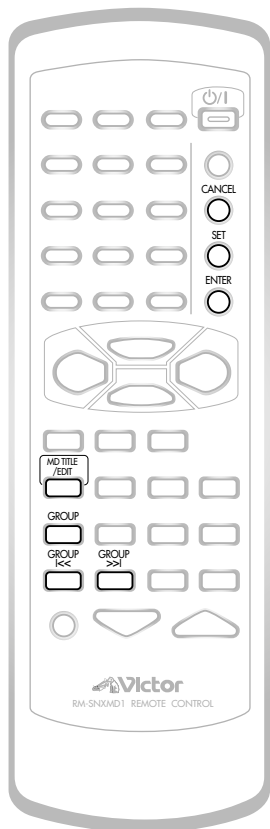
4 GROUP >>I または GROUP I<< を押して移動するグループを選ぶ

GROUP >>I

または

GROUP I<<

• 演奏中は、選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

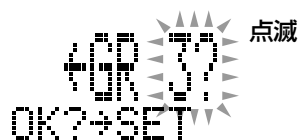
例：グループ３を選んだとき

グループを移動すると…

例： グループ３をグループ６へ移動すると、曲番号も次のように変わります。

5 SET を押す

• CANCEL を押すと**手順４**に戻ります。

6 GROUP >>I またはGROUP I<< を押して移動先を選ぶ

または

例：移動先にグループ番号６
を選んだとき

• CANCEL を押すと**手順４**に戻ります。

7 SET を押す

• SETを押してから、移動するグループを間違えたことにきづいたときは、CANCEL を押します。**手順４**に戻ります。

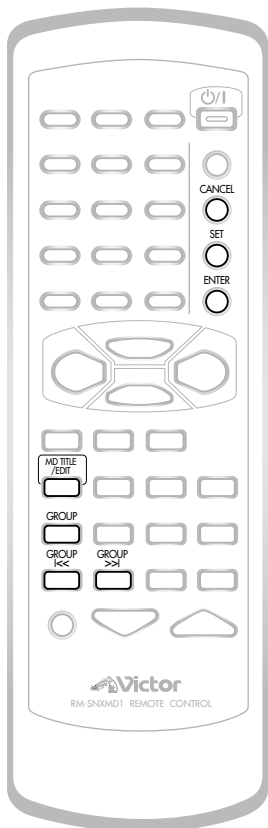
8 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順８の ENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

グループを解除する（UNGROUP/UNGROUP ALL）

指定したグループまたは MD 内の全てのグループを解除します。
グループを解除すると、グループ番号は自動的に減少します。
グループ編集モードのときに操作します。
「MD にタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

指定したグループを解除する（UNGROUP）

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

- 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「UNGROUP？」を選ぶ

- MD TITLE/EDIT を押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDITを押して、もう一度「UNGROUP？」を表示させます。

点滅

3 SET を押す

点滅

- 演奏中は、演奏中のグループ番号が点滅表示されます。
- グループ管理されてない曲が選ばれているときは、グループ番号が「－－」で表示されます。

グループを解除すると…

例： グループ3のグループを解除すると、次のようになります。

グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11	12 13 14	15 16 17	18 19 20	21 22 23 24

⬇

グループ1	グループ2		グループ3	グループ4	グループ5	グループ6
1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11	12 13 14	15 16 17	18 19 20	21 22 23 24

4 GROUP >>I またはGROUP I<< を押して解除するグループを選ぶ

GROUP >>I

または

GROUP I<<

• 演奏中は、選んだグループの1曲目の演奏が始まります。

例：グループ3を選んだとき

5 SET を押す

• SETを押してから、解除するグループを間違えたことに気づいたときは、CANCEL を押します。**手順4** に戻ります。

6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全てのグループを解除する (UNGROUP ALL)

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

• 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「UNGR ALL？」を選ぶ

• MD TITLE/EDIT を押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDITを押して、もう一度「UNGR ALL？」を表示させます。

3 SET を押す

演奏中は、グループ番号1の1曲目から演奏が始まります。

4 ENTER を押す

ENTER

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

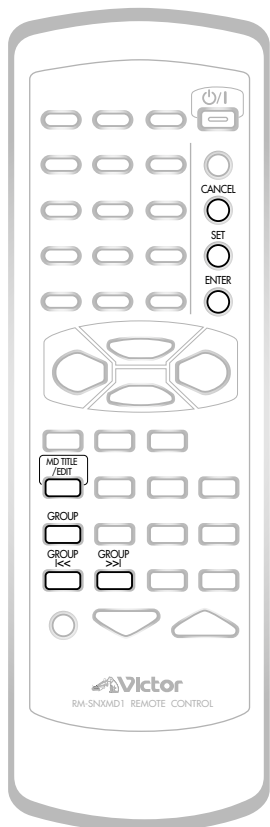
途中で操作を止めるときは

手順6 のENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

途中で操作を止めるときは

手順4 のENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

グループで曲を消す（ERASE GROUP）

グループ単位で曲を消します。
グループを消すと、グループ番号と曲番号は自動的に減少します。
グループ編集モードのときに操作します。
「MD にタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

• 表示窓にGROUP表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「ERASE GR？」を選ぶ

• MD TITLE/EDIT を押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「ERASE GR？」を表示させます。

点滅

3 SET を押す

点滅

• 演奏中は、演奏中のグループ番号が点滅表示されます。
• グループ管理されてない曲が選ばれているときは、グループ番号が「－－」で表示されます。

4 GROUP >>I または GROUP I<< を押して消したいグループを選ぶ

GROUP >>I

または

GROUP I<<

• 演奏中は、選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

例：グループ 3 を選んだとき

グループで曲を消すと…

例： グループ3を消すと、9曲目から11曲目までが消えます。

5 SET を押す

• SETを押してから、**手順4**で選んだグループ番号が間違っていると気づいたときは、CANCELを押します。**手順4**に戻ります。

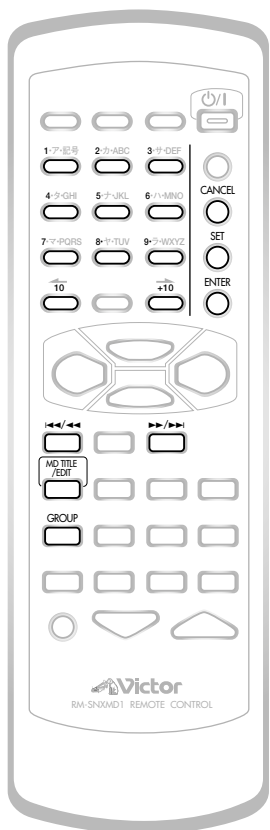
6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順6のENTERを押す前に、MD TITLE/EDITを押します。

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
通常編集モードのときに操作します。
「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

• 表示窓のGROUP表示が消灯していることを確認してください。
点灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「DIVIDE？」を選ぶ

• MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「DIVIDE？」を表示させせます。

点滅

3 SET を押す

SET

• MDが停止中のときは、1曲目が演奏されます。

MD 1 GR. 1
0:04
TRK OK?→SET

4 ►►/►►I または I◄◄/◄◄ を押して分けたい曲を選ぶ

►►/►►I

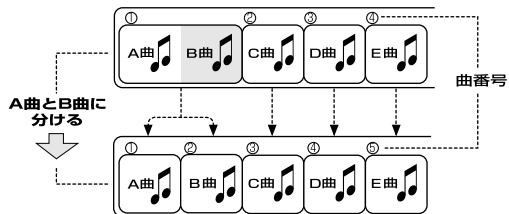
または

I◄◄/◄◄

• 1～10、＋10キーを押しても曲を選ぶことができます。

例：3曲目を選んだとき

MD 3 GR. 1
0:04
TRK OK?→SET

曲を分けると…

お知らせ

• もとに戻すときは、JOIN（ジョイン）の操作をします。
「曲をつなげる（JOIN）」（➡ 78 ページ参照）
• MDによっては「曲を分ける」ことができないものがあります。（例えば、254曲録音してあるものなど）このようなMDのときは、**手順5**でSETを押すと「DISC FULL！」が表示されます。

5 分けたいところでSETを押す

SET

SETを押したところから3秒後までがくり返し演奏されます。

- SETを押す前に▶▶/▶▶|または|◀◀/◀◀を押し続けて分けたい部分に早送り／早戻しすることもできます。
- 希望どおりに分けられたときは、**手順7**に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。**手順4**に戻ります。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、**手順6**へ進みます。分けたいところが微調節できます。

6 ▶▶/▶▶|または|◀◀/◀◀を押して分けたいところを微調節する

▶▶/▶▶|

または

|◀◀/◀◀

±128ポジション（SP：標準モード時は約±8秒）の範囲で調節できます。

トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから約3秒後までがくり返し演奏されます。

例：＋20ポジション微調節したとき

- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。**手順4**に戻ります。

7 SETを押す

8 ENTERを押す

ENTER

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順8のENTERを押す前に、MD TITLE/EDITを押します。

曲をつなげる（JOIN）

トラックマークを取り除き、となりあう２つの曲を１つにまとめることができます。
JOINをすると曲番号は自動的に減少します。
通常編集モードのときに操作します。
「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

- 表示窓のGROUP表示が消灯していることを確認してください。
  点灯しているときは、GROUPを押します。

2 MD TITLE/EDITを数回押して「JOIN？」を選ぶ

- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTERを押してからMD TITLE/EDITを押して、もう一度「JOIN？」を表示させます。

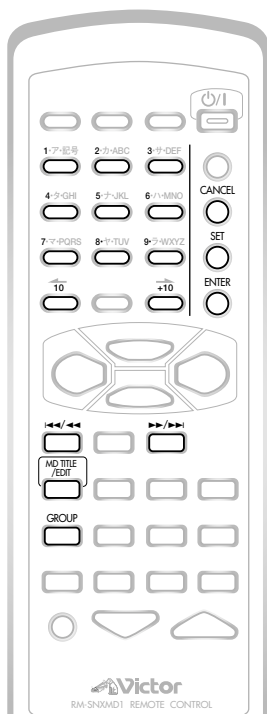
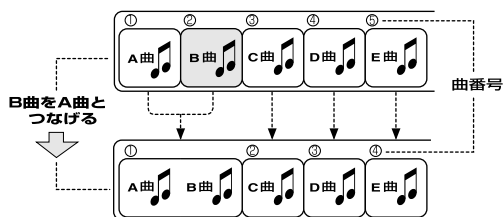
3 SETを押す

- 演奏中は、演奏中の曲番号が表示されます。

4 ►►/►►I または I◄◄/◄◄ を押してつなげたい曲を選ぶ

►►/►►I
または
I◄◄/◄◄

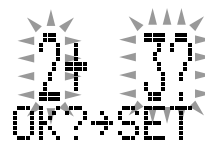
演奏中は、選んだ曲がくり返し演奏されます。
- 1〜10、＋10キーを押しても曲を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏がされます。

例：2曲目と3曲目をつなげるときは、3曲目を選びます。1つ前の曲とつなげることができます。

曲をつなげると…

ご注意

次のような曲は「CANNOT JOIN」が表示され、つなげられません。
- 録音モード（SP/LP2/LP4）の異なる曲
- 他のMDレコーダーでモノラル長時間録音した曲と、本機で録音した曲
- デジタル入力で録音した曲とアナログ入力で録音した曲

お知らせ

- もとに戻すときは、DIVIDE（ディバイド）の操作をします。「曲を分ける（DIVIDE）」（➡ 76 ページ参照）
- MDによっては「曲をつなげる」ことができないものがあります。（例えば、1曲だけのMDなど）このようなMDは、**手順4**でつなげる曲が選べません。（➡ 97 ページ「MDの制約について」参照）

5 SET を押す

- SETを押してから､つなげる曲を間違えたことに気づいたときは、CANCEL を押します。
  手順 4 に戻ります。

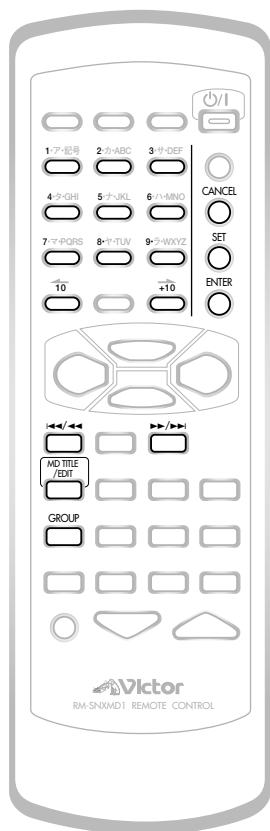
6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、
「WRITING」が点滅表示され、
編集した内容が MD に記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順 6 の ENTER を押す前に、
MD TITLE/EDIT を押します。

曲を移動する（MOVE）

好きな順番に曲を移動することができます。
通常編集モードのときに操作します。
「MDにタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

- 表示窓のGROUP表示が消灯していることを確認してください。
  点灯しているときは、GROUPを押します。

2 MD TITLE/EDITを数回押して「MOVE ？」を選ぶ

MD TITLE /EDIT

- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTERを押してからMD TITLE/EDITを押して、もう一度「MOVE？」を表示させせます。

3 SETを押す

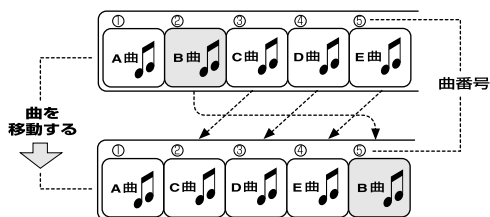
- 演奏中は、演奏中の曲番号が表示されます。

4 ►►/►►I または I◄◄/◄◄ を押して移動する曲を選ぶ

►►/►►I
または
I◄◄/◄◄

演奏中は、選んだ曲がくり返し演奏されます。

- 1～10、＋10キーを押しても曲を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏がされます。

例：2曲目を選んだとき

曲を移動すると…

お知らせ

- MDによっては「曲を移動する」ことができないものがあります。（例えば、1曲だけのMDなど）このようなMDは、**手順4**で移動する曲を選べません。
- 移動先の曲番号が別のグループに管理されているときは、そのグループの曲として登録されます。
  移動先の曲番号がグループ管理されていないときは、グループ管理されていない曲になります。

5 SET を押す

• CANCEL を押すと**手順４**に戻ります。

6 ►►/►►| または |◄◄/◄◄ を押して移動先を選ぶ

または

• 1 ～ 10、＋10キーを押しても曲を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏がされます。

例：移動先に５曲目を選んだとき

• CANCEL を押すと**手順４**に戻ります。

7 SET を押す

• SETを押してから、移動する曲または曲の移動先を間違えたと気づいたときは、CANCEL を押します。**手順４**に戻ります。

8 ENTER を押す

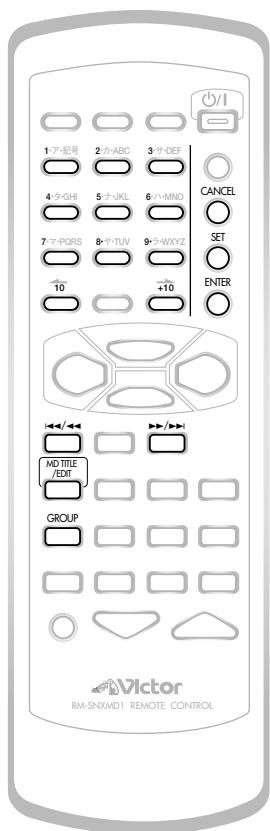
「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順８の ENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

曲を消す（ERASE）

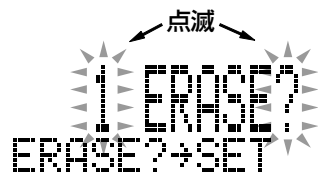
イレース

指定した曲を消します。最大 15 曲まで 1 回の操作で消すことができます。曲番号は自動的に減ります。
通常編集モードのときに操作します。
「MD にタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを MD挿入口に入れる

- 表示窓のGROUP表示が消灯していることを確認してください。
  点灯しているときは、GROUP を押します。

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「ERASE？」を選ぶ

- MD TITLE/EDITを押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDIT を押して、もう一度「ERASE？」を表示させます。

3 SET を押す

- 演奏中は、演奏中の曲番号が表示されます。

4 ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して消したい曲を選ぶ

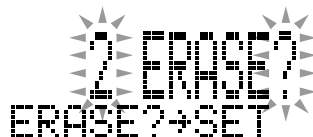
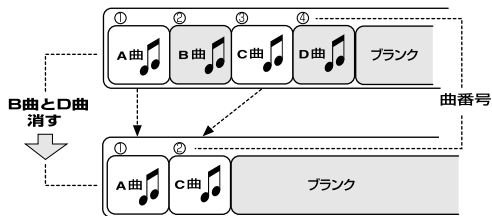
▶▶/▶▶I

または

I◀◀/◀◀

演奏中は、選んだ曲がくり返し演奏されます。

- 1 ～ 10、＋ 10 キーを押しても曲を選ぶことができます。停止中は、選んだ曲が演奏がされます。

例：2 曲目を選んだとき

曲を消すと…

ご注意

- 一度消した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開けておいてください。（➡ 9 ページ参照）

5 SET を押す

SET

SETを押すと曲番号の前に「√」がつきます。「√」のついている曲が消えます。

- **手順4**と**手順5**くり返して、最大15曲まで消す曲が選べます。
- 消したくない曲に間違えて「√」をつけたときは、▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して消したくない曲を選んでから、CANCEL を押して「√」を消します。

6 消す曲をすべて選んだら ENTER を押す

ENTER

〈ERASE〉
YES?→ENTER

7 ENTER を押す

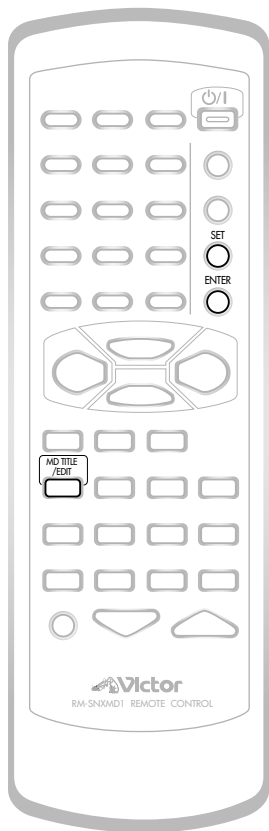
「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

途中で操作を止めるときは

手順7の ENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

全曲を消す（ALL ERASE）

（ルビ：オール イレース）

MD に録音されている内容をすべて消して、ブランクディスクにします。
編集モードに関係なく操作できます。
「MD にタイトル入力や編集をする前に」（➡ 54 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 消去する MD を MD 挿入口に入れる

2 MD TITLE/EDIT を数回押して「ALL ERASE？」を選ぶ

- MD TITLE/EDIT を押しすぎたときは、ENTER を押してから MD TITLE/EDITを押して、もう一度「ALL ERASE？」を表示させます。

点滅

3 SET を押す

〈ALL ERASE〉
YES?→ENTER

4 ENTER を押す

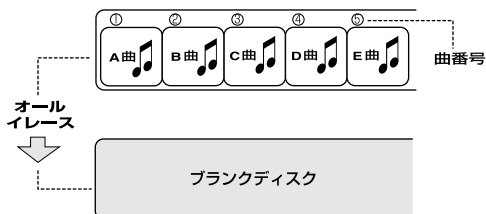
ENTER

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、ブランクディスクになります。

BLANK DISC

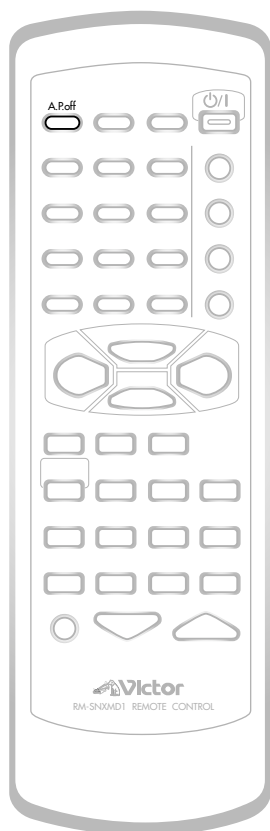
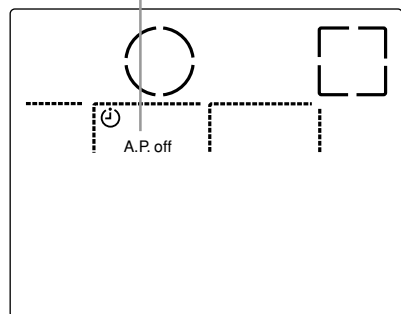
NO TITLE

全曲を消すと…

① ② ③ ④ ⑤
A曲 B曲 C曲 D曲 E曲
曲番号
オール
イレース
ブランクディスク

途中で操作を止めるときは

手順 4 の ENTER を押す前に、MD TITLE/EDIT を押します。

AUTO POWER OFF 機能を使う

本機にはラジオ以外のソース（音源）の無音状態が３分以上続くと、自動的に電源が「切」になるAUTO（オート） POWER（パワー） OFF（オフ） 機能があります。

1 A.P.off を押す

A.P.off

表示窓に「A.P.off SET」が表示され、A.P.off 表示が点灯します。

AUTO POWER OFF を解除する

A.P.off

A.P. off をもう一度押します。
表示窓に「A.P. off CANCEL」が表示され、A.P. off表示が消灯します。

AUTO POWER OFF を設定すると

AUTO POWER OFF 機能を設定すると、表示窓のA.P. off 表示が点灯します。
AUTO POWER OFF 機能が動作すると、表示窓のA.P. off 表示が点滅に変わります。

AUTO POWER OFF の動作

CD または MD を演奏しているとき：
CD を MD に録音しているとき：
演奏または録音が終了すると、AUTO POWER OFF 機能が動作し、何の操作もせずに３分が経過すると自動的に電源が「切」になります。
３分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度 AUTO POWER OFF 機能が動作します。
演奏または録音以外の操作をしたときは、最後に操作が行われてから何の操作もせずに3分間が経過すると、自動的に電源が「切」になります。

他の機器の音を聞いているとき：
無音状態になるとAUTO POWER OFF機能が動作し、何の操作もせずに３分以上無音が続くと、自動的に電源が「切」になります。

電源が「切」になる20秒前になると表示窓にカウントダウン表示が表示されます。

A.P.off
Count Down
20sec

表示窓について

A.P. off 表示

A.P. off

タイマー

本機には３種類のタイマー機能があります。

SLEEP（スリープ）タイマー（おやすみタイマー 87 ページ**）**

音楽を聞きながら眠りたいときに使います。

- おやすみタイマーが動作する時間を設定し、設定したスリープ時間を経過すると自動的に電源が「切」になります。

REC（レック）タイマー（録音タイマー 88 ページ**）**

留守中にラジオ番組やLINE IN端子、またはOPTICAL DIGITAL IN端子に接続した他の機器の音声を留守録音するタイマーです。設定後１回だけ動作します。

- 録音開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、録音するソース（音源）と録音モードを設定します。
  - ※ 他の機器の音声をタイマー録音するときは、タイマー機能のある機器を接続してください。本機で他の機器の電源を「入 ⟷ 切」することはできません。

DAILY（デイリー）タイマー（目覚ましタイマー 90 ページ**）**

目覚ましとして毎日同じ時刻に動作するタイマーです。

- 開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）聞きたいソース（音源）、音量を設定します。

タイマーを操作する前に

- **タイマーの設定はリモコンを使って操作します。**
- **タイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。**
  時計合わせをしていないときに「SLEEPタイマー」の操作をすると「CLOCK ADJUST！」が表示されて操作できません。
  時計合わせをしていないと、「RECタイマー」と「DAILYタイマー」の設定はできません。
- 「RECタイマー」と「DAILYタイマー」で設定した内容は、設定を変更しない限り記憶されています。
- 電源プラグが抜いてあったときや停電のときは、「RECタイマー」または「DAILYタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、もう一度タイマーを設定してください。

タイマーが重なったときは

- **「SLEEPタイマー」、「RECタイマー」または「DAILYタイマー」のいずれかが重なったときは、あとから動作するタイマーが優先されます。**

タイマー動作中のご注意

- 「RECタイマー」または「DAILYタイマー」が動作中（開始時刻から終了時刻の間）に、音量や音質の調節、重低音の調節以外の操作をすると、タイマーが解除され終了時刻になっても電源は「切」になりません。
  上記以外の操作をしたときは、ご注意ください。

SLEEP タイマー（おやすみタイマー）

リモコンを使って設定します。
おやすみタイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。

1 聞きたいソース（音源）を演奏状態にする

2 SLEEP を押して スリープ時間を設定する

表示窓の SLEEP 表示が点灯します。

SLEEP を押すごとにスリープ時間は次のように変わります。

- SLEEP タイマーを設定すると、表示窓が暗くなり、本体の VOLUME ランプが消灯します（オートディマーといいます）。

⋮

設定したスリープ時間を経過すると、自動的に電源が「切」になります。

設定したスリープ時間を変更するときは

SLEEPタイマー設定後にSLEEPを1回押すと残り時間が表示されます。
設定を変更するときは、SLEEPをくり返し押して希望の時間を設定し直します。

SLEEP タイマーの解除

SLEEP タイマー設定後に SLEEP を押していき、「SLEEP OFF」を表示させます。SLEEP タイマーが解除されます。
⏻/I を押して電源を「切」にしたときも、SLEEP タイマーが解除されます。

SLEEP タイマーでおやすみになり DAILY タイマーで目覚めるには

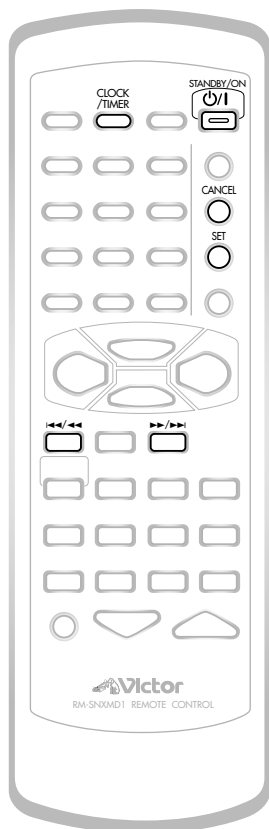
1. DAILY タイマーを設定する（➡ 90 91 ページ参照）
2. 聞きたいソース（音源）を演奏状態にする
3. SLEEP を押してスリープ時間を設定する
- 設定したスリープ時間を経過すると、自動的に電源が「切」になり、DAILY タイマーの開始時刻で目覚ましタイマーが動作します。

表示窓について

お知らせ
- REC タイマーとの併用もできますが、SLEEP タイマー動作中に REC タイマーの開始時刻になると REC タイマーに切り換わります。

REC タイマー（録音タイマー）

電源が「入」のときでも「切」のときでも REC タイマーの設定ができます。
タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。

表示窓について

1 CLOCK/TIMER を 2 回押して「REC TIMER SET UP」表示にする

CLOCK
/TIMER

- CLOCK/TIMERを押しすぎたときは、さらにCLOCK/TIMERを数回押して、もう一度「REC TIMER SET UP」を表示させます。

2 ►►/►►\|または\|◄◄/◄◄とSETを使ってタイマーの設定をする

►►/►►\|
または
\|◄◄/◄◄
SET

「**タイマーの開始時刻➡終了時刻➡録音するソース（音源）➡録音モード**」の順に設定します。
具体的な設定方法は、89 ページをご覧ください。
設定を間違えたときは、CANCELを押します。一つ前の設定に戻ります。

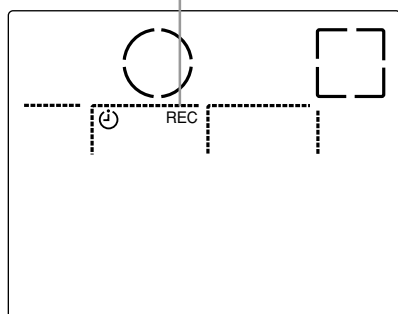
- **録音用の MD を MD 挿入口に忘れずに入れておきます。**

電源「入」で REC タイマーの設定をしていたとき

3 ⏻/Iを押して電源を「切」にする

表示窓に REC 表示が表示されていることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻の20秒前になると「REC TIMER STANDBY」が表示されます。
  タイマーの開始時刻になると REC タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。
- 録音中の音量は0になり、スピーカーやヘッドホンから音は出ません。

2-1. 開始時刻の設定

▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「時」を選んでからSETを押します。次に ▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：開始時刻を午後1時30分にするとき

```
 REC TIMER
ON    13:30
  OK?→SET
```

2-2. 終了時刻の設定

▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「時」を選んでからSETを押します。次に ▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：終了時刻を午後2時30分にするとき

```
 REC TIMER
OFF   14:30
  OK?→SET
```

2-3. 録音するソース（音源）の設定

① **▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押してFM、AM、LINE、DIGITAL IN のいずれかを選ぶ**

② **SET を押す**

FM または AM を選んだとき：

▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して記憶してある放送局のプリセット番号を選んでからSETを押します。

SETを押したあと、**手順 2-4.** に進みます。

• 放送局を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にする前のバンドの放送局が選ばれます。

LINE、DIGITAL IN を選んだとき：

録音するソース（音源）を選んでからSETを押したあと、**手順 2-4.** に進みます。

• タイマー機能付きの機器をご使用ください。

2-4. 録音モードの設定

▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して録音モードを選んでからSETを押します。
「SP（標準）」、「LP2（2倍長）」、「LP4（4倍長）」から選びます。

録音モードの設定をするとRECタイマーの設定は終わりです。
電源「入」で設定したときは、表示窓に設定内容が一通り表示されてから、タイマー設定前のソース（音源）の表示に戻ります。

RECタイマーの再設定と解除

RECタイマーは、動作を1回行うと解除されますが、設定内容は記憶されています。
設定内容を変えずに次回の録音をするときは、RECタイマーの「再設定する」の操作をします。

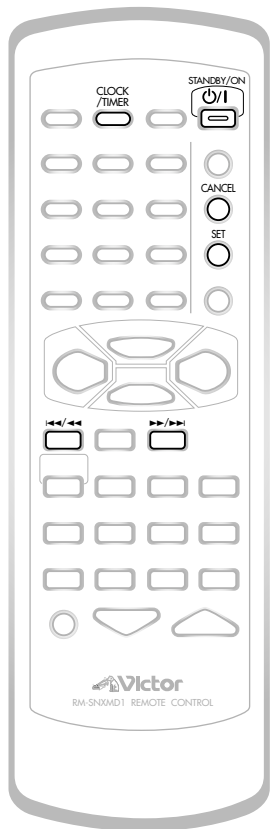
再設定する

CLOCK/TIMERを1回押して「REC TIMER」を表示させてからSETを押します。
REC表示が点灯し、設定内容が一通り表示されます。

解除する

RECタイマーが設定されているとき、CLOCK/TIMERを1回押して「REC TIMER」を表示させてからCANCELを押します。
「REC TIMER OFF」が表示され、REC表示が消灯します。

DAILY タイマー（目覚ましタイマー）

電源が「入」のときでも「切」のときでも DAILY タイマーの設定ができます。
タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。

1 CLOCK/TIMER を 4 回押して「DAILY TIMER SET UP」表示にする

CLOCK /TIMER

• CLOCK/TIMERを押しすぎたときは、さらにCLOCK/TIMERを数回押して、もう一度「DAILY TIMER SET UP」を表示させます。

DAILY TIMER SET UP ➡ DAILY TIMER ON --:-- OK?→SET

2 ►►/►►Iまたは I◄◄/◄◄とSETを使ってタイマーの設定をする

「**タイマーの開始時刻➡終了時刻➡聞きたいソース（音源）➡音量➡フェード**」の順に設定します。
具体的な設定方法は、91 ページをご覧ください。
設定を間違えたときは、CANCELを押します。一つ前の設定に戻ります。

• 一度設定すると DAILY タイマーを解除するまで、毎日同じ時刻にタイマーがスタートします。

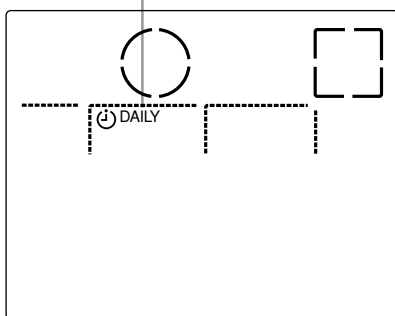
電源「入」で DAILY タイマーの設定をしていたとき

3 ⏻/Iを押して電源を「切」にする

表示窓に DAILY 表示が表示されていることを確認してください。

⋮

• タイマーの開始時刻の 20 秒前になると「DAILY TIMER STANDBY」が表示されます。タイマーの開始時刻になると DAILY タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。

表示窓について

ご注意

• CDまたはMDを選んだとき、DAILYタイマーでプログラム演奏やランダム演奏またはグループ演奏をすることはできません。
• DAILYタイマーは、電源が「切」のときだけ動作します。電源が「入」のときは、DAILYタイマーの動作時刻になっても動作しません。

2-1. 開始時刻の設定

▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「時」を選んでからSETを押します。次に ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：開始時刻を午前7時30分にするとき

```
DAILY TIMER
ON     7:30
  OK?→SET
```

2-2. 終了時刻の設定

▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「時」を選んでからSETを押します。次に ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：終了時刻を午前8時00分にするとき

```
DAILY TIMER
OFF    8:00
  OK?→SET
```

2-3. 聞きたいソース（音源）の設定

① ▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して、－－－－－、CD、MD、FM、AM、USB、LINE、DIGITAL IN のいずれかを選ぶ

② SET を押す

－－－－－ を選んだとき：
電源を「切」にする前のソース（音源）が選ばれます。

CD を選んだとき：
（あらかじめ CD を入れておきます）
▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して聞きたい曲番号を選んでから SET を押します。
SET を押したあと、**手順 2-4.** に進みます。
- 曲番号を選ばずに SET を押すと、CD の 1 曲目からの演奏になります。

MD を選んだとき：
（あらかじめ MD を MD 挿入口に入れておきます）
▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して聞きたい曲番号を選んでから SET を押します。
SET を押したあと、**手順 2-4.** に進みます。
- 曲番号を選ばずに SET を押すと、MD の 1 曲目からの演奏になります。

FM または AM 放送を選んだとき：
▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して記憶してある放送局のプリセット番号を選んでから SET を押します。SETを押したあと、**手順2-4.**に進みます。
- 放送局を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にする前のバンドの放送局が選ばれます。

USB、LINE、DIGITAL IN を選んだとき：
いずれかのソース（音源）を選んでSETを押したあと、手順 **2-4.** に進みます。
- タイマー機能付きの機器をご使用ください。
- USB を選んだときは、パソコンよりも先に本機の電源が「入」になるように、開始時刻を設定してください。

2-4. 音量の設定

▶▶/▶▶I または I◀◀/◀◀ を押して音量を設定してから SET を押します。
音量は 0 ～ 50 の範囲で設定することができます。
- 電源が「入」のときに限り、「VOL. －－」に設定することができます。SET を押したときに聞いていた音量に設定されます。

2-5. フェードの設定

▶▶/▶▶Iまたは I◀◀/◀◀を押して「FADE」または「NoFADE」を選んでから SET を押します。

FADE　：開始時刻になると、設定した音量まで徐々に上がります（フェードイン）。
NoFADE：開始時刻になると、設定した音量で音が出ます。

- フェードの設定をするとDAILYタイマーの設定は終わりです。表示窓に設定内容が一通り表示されてから、タイマー設定前のソース（音源）の表示に戻ります。

DAILY タイマーの解除と再設定

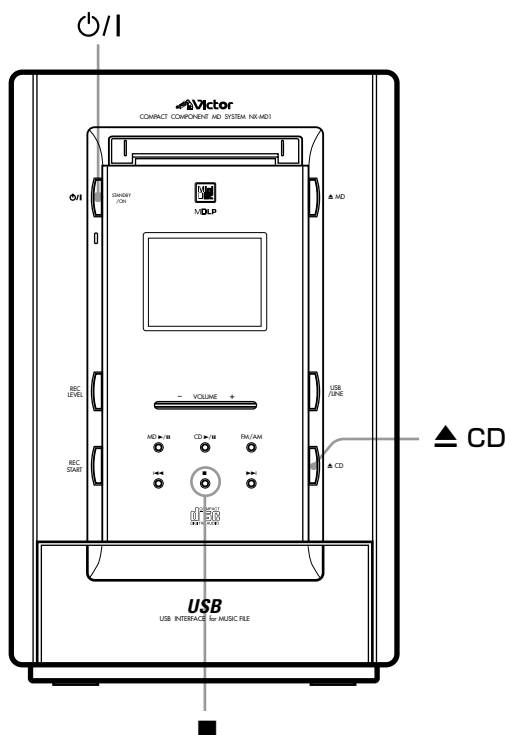
DAILY タイマーの設定内容は記憶されています。
設定内容は変えずにタイマーを動作させないときは「解除する」、タイマー動作を復帰させたいときは「再設定する」の操作をします。

解除する（休日前夜など）
CLOCK/TIMER を 3 回押して「DAILY TIMER」を表示させてから CANCEL を押します。「DAILY TIMER OFF」が表示され、DAILY 表示が消灯します。

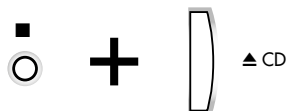
```
DAILY TIMER
  ON?→SET
OFF?→CANCEL
```

再設定する（出勤・登校の前夜など）
CLOCK/TIMER を 3 回押して「DAILY TIMER」を表示させてから SET を押します。
DAILY 表示が点灯し、設定内容が一通り表示されます。

チャイルドロック機能

MD 挿入口と CD トレイを電子ロックして ▲ を押しても MD が出てこないようにしたり、CD トレイが開かないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 **電源を「切」にする**

電源が「入」のときは ⏻/I を押します。

2 **■ を押したまま ▲ CD を押す**

「LOCKED」が表示され、**MD 挿入口と CD トレイがロックされます。**

- チャイルドロックすると、どの ▲ を押しても「LOCKED」が表示されて、MD が出てこなくなったり CD トレイが開かなくなります。
- 電源「切」のときに▲を押すと「LOCKED」が表示されます。電源は「切」のままです。

チャイルドロックを解除する

もう一度、**手順 1** と**手順 2** の操作をします。
「UNLOCKED」が表示されてチャイルドロックが解除されます。

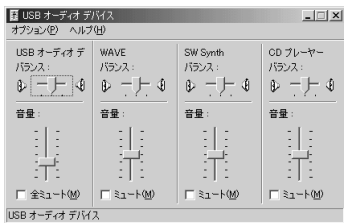
UNLOCKED

パソコンからの音声が聞こえないとき

「パソコンからの音声信号が再生されるか確認する」(➡ 41 ページ参照)の操作をして「Windows の起動」音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。

- [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [マルチメディア] を開き、「優先するデバイス」が「USB オーディオ デバイス」になっているか確認します。
  「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USB オーディオ デバイス」を選びます。

参考： 他のサウンドカードから音声を出すときもここを変更します。

- [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート(M)」にクリックマークがついていないかを確認します。
  音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート(M)」にクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

故障と思う前に、次のことを確認してください

本機がパソコンに認識されない

➡ 本機のソース（音源）をUSB にしてから、USB ケーブルで本機とパソコンをしっかり接続する。

➡ USBハブを使って接続しているときは、接続しているハブに問題がある場合があります。
ハブが正しく動作しているか確認する、または接続するポートを変えてみてください。

音が出ない、小さい

➡ [マルチメディア] のボリュームコントロールの設定が違っている場合があります。優先するデバイス、「ミュート(M)」を確認してください。

➡ 本機の音量が適当になっているかを確認してください。

➡ パソコンと本機の電源を切ってから 40 ページ「パソコンからの音声を聞く」の操作を再度行ってください。

音が途切れる

➡ 音声出力中、パソコンの CPU に負担のかかる作業をしていると、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。

➡ 音声の再生中に、他の機器の USB ケーブルを抜き差しすると音が途切れることがあります。

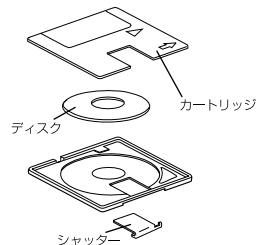
雑音が多い

➡ 強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに置いていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して置いてください。

MDについて

MD（ミニディスク）は直径64mm のディスクを使った新しいデジタルオーディオで、小さくても多機能、高音質でステレオ録音／再生ができます。

カートリッジのはたらき

カートリッジの大きさは、68×72mm、厚さ5mmのポケットサイズ、この中に直径64 mm のディスクが収められていますので、持ち運びや収納がとても便利です。
また、中のディスクは、カートリッジ部及びシャッターが閉じて保護されているために、ほこりやゴミ、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。

2種類のディスク

MD（ミニディスク）には、録音できる「録音用 MD 」と再生のみできる「再生専用 MD 」の2種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

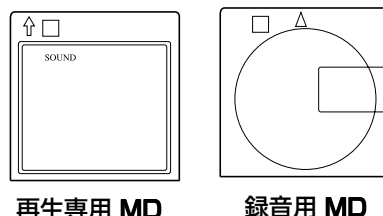
再生専用 MD

市販の MD（ミニディスク）ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD 同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。

録音用 MD

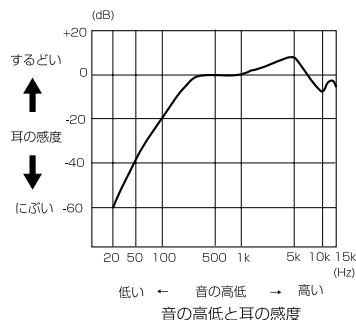
録音用 MD（ミニディスク）で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気 (MO：Magneto-Optical) ディスク」と呼びます。

再生専用 MD

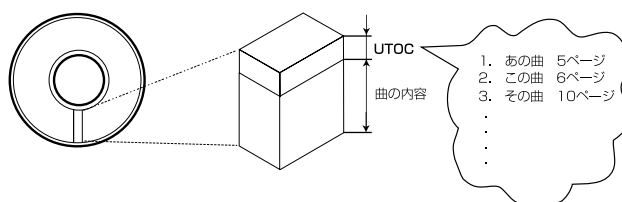
録音用 MD

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

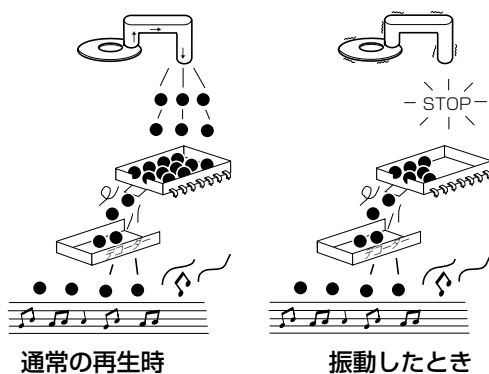
MD(ミニディスク)は、従来の CD の約半分のサイズですが同じ時間記録することができます。 それは、「音声圧縮技術 (ATRAC)」により、聴感上聞こえない音の成分をカットしてデータを小さく圧縮し、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることで、MD でのステレオ録音／再生を可能にしました。
また、本機では最新のATRAC3技術を用いて記録するデータを元のデータの約1/10または1/20の量にすることで、2倍長または4倍長の長時間ステレオ録音を可能にしています。

音の高低と耳の感度

UTOC (User Table Of Contents)

（ユーザー テーブル オブ コンテンツ）

録音用 MD（ミニディスク）には、曲の内容とは別に、「目次 (UTOC) 」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。
また、編集のときは、この「目次 (UTOC) 」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

音飛びガードメモリー

MD（ミニディスク）を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能を「音飛びガードメモリー」と呼びます。
この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

通常の再生時　　振動したとき

デジタル録音のきまり（SCMS）

（シリアル コピー マネージメント システム）

デジタルオーディオとは､デジタル入出力端子を通して音声信号をデジタル信号のままやりとりするオーディオ機器で、CD、MD、DAT、CD-R などがあります。これらの機器は音楽信号をほとんど劣化することなく録音（コピー）ができます。このために、著作権を保護するコピー規制が必要になり、この決まりが SCMS です。

SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル コピー マネージメント システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

DIGITAL **OK** DIGITAL **NO**

ご注意
この規定により、本機でデジタル録音した MD は、他の機器でデジタル録音することはできません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ ０３－５３５３－０３３６（代）

倍速録音に関して（HCMS）

録音用 MD は等速を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CD から一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと、再録音〔倍速録音および等速（ノーマル速度）録音〕はできません。
例えば、CD の１曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから 74 分間は、その CD の１曲目を再び MD に倍速および等速（ノーマル速度）で録音することはできません。

MD/CD のメッセージ

MD のメッセージ

メッセージ	意　味	処　置
BLANK DISC	何も録音されていないMD が入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMD に取り換えてください。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲をつなげようとした。 ８秒以下の短い曲をつなげようとした。	MD のシステム上の制約です。 「➡ 97 ページ参照」
	となりあわないグループをつなげようとした。	「➡ 69 ページ参照」
DISC ERROR	MD が異常 (損傷している)。	MD を取り換える。
	UTOC 情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。 トラック数が 254 を超える。	他の録音用 MD に取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■を押していったん停止してから、⏏ MD（取り出し）を押して MD を取り出し、もう一度操作し直してください。
MD NO DISC	MD が入っていない。	MD を入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVD や CD-ROM（ビデオ CD など）をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用 MD に録音・編集しようとした。	録音用 MD に取り換えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっている。	MD の誤消去防止つまみを閉じる。 「➡ 9 ページ参照」
SCMS CANNOT COPY	デジタル録音したMDのコピーやCD-RまたはCD-RW のコピーを作ろうとした。	MD デジタル録音の制約です。 「➡ 95 ページ参照」 アナログ入力を使って録音します。
DIGITAL IN UNLOCK	OPTICAL DIGITAL IN端子がソース機器と接続されていない。	ソース機器を正しく接続する。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を倍速録音を開始した時点から74分以内にまた録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働きます。74 分以上待ってから録音を開始してください。
CANNOT LISTEN!	倍速録音中に CD の音を聞こうとした。	倍速録音中は、CD の音は聞けません。
MD LOAD ERROR	MD の挿入がうまくいかなかった。	⏏ MD（取り出し）を押して MD を取り出し、もう一度挿入しなおしてください。
CANNOT TITLE	MD にトータル 1792 文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトル入力はできません。
CANNOT GROUP	グループに関する情報量の制限を超えている。	それ以上のグループは作れません。
GROUP FULL	100 以上のグループを作ろうとした。	グループは 99 まで作ることができます。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作ってください。 「➡ 63 ページ参照」
CANNOT FORM	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように、正しく曲を選んでください。「➡ 63 ページ参照」
CANNOT ENTRY	すでに登録されているグループに登録しようとした。	登録先のグループを正しく選んでください。 「➡ 65 ページ参照」
CD PROGRAM CANNOT x4 RECORDING	CDのプログラム演奏を4倍速（x4 SPEED）で録音しようとした。	4 倍速（x4 SPEED）以外の録音スピードで録音してください。「➡ 49 ページ参照」

メッセージ	意　味	処　置
CD RANDOM CANNOT x4 RECORDING	CDのランダム演奏を４倍速（x4 SPEED）で録音しようとした。	４倍速（x4 SPEED）以外の録音スピードで録音してください。「➡ 49 ページ参照」
x4 SPEED CANNOT COPY LOW TEMP	使用環境の温度が４倍速（x4 SPEED）で録音するには低すぎます。	5℃～35℃の範囲でお使いください。

CDのメッセージ

メッセージ	意　味	処　置
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。
CD LOAD ERROR	CDトレイが障害物などで正しく開いていません。	もう一度⏏ CDを押してトレイを閉じてから障害物を取り除いてください。
UNFINALIZE	ファイナライズされていないCD-R/CD-RWのディスクを演奏しようとしている。	ファイナライズされたディスクをお使いください。
CANNOT PLAY	演奏できないCDを演奏しようとした、またはキズの多いCDを演奏しようとした。	ディスクを交換してください。
ALL SKIP TRK.	CDの全曲にトラックスキップの情報が記録されている。	ディスクを交換してください。
SKIP TRK.	CDの１曲目にトラックスキップの情報が記録されています。2曲目以降のトラックスキップ情報が記憶されていない曲の演奏が始まるまでお待ちください。	

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような場合があります。これらの症状は、製品の故障ではありません。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原　因</th></tr>
<tr><td>MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。</td><td>MDは時間に関係なく、録音できる曲数に制限があります。
曲番号が255以上になる録音はできません。
（最大録音曲数は254曲）</td></tr>
<tr><td>曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。</td><td rowspan="4">部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて8秒以下の部分ができると、その曲は、「JOIN 機能」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。</td></tr>
<tr><td>「JOIN」機能が使えない。</td></tr>
<tr><td>曲を消しても残り時間が増えない。</td></tr>
<tr><td>早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。</td></tr>
<tr><td>録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。</td><td>MDは、最低でも12 秒間（SP：標準モード時）の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間が短くなります。</td></tr>
</table>

故障かな？と思う前に

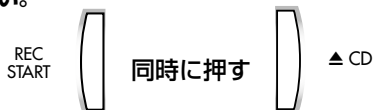
故障かなと思ったら…
修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	12 13 14
MDに録音できない。	MD が誤消去防止状態（つまみが開いた状態）になっている。	MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にする。	9
放送が雑音で聞き苦しい。	AMループアンテナが本体に近づいている。	AMループアンテナの位置と向きを変えてください。	12
	アンテナが束ねたままになっている。	最も受信状態の良い向きに、ピーンとはってお使いください。	
リモコン操作ができない。本体に近づけないと操作できない。	リモコン受光部との間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	11
	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	
CD の音が途切れる。	CD に傷・汚れなどがある。	CD をクリーニングしてください。	9
CDが演奏されない。	CD が裏返しになっている。	CD の文字などの印刷面が上になるように、CDトレイに正しくのせてください。	24
CDまたはMDの演奏が始まらない。	レンズに露がついている。	電源を「入」にしたまま、約1～2時間待ち乾いてから使ってください。	8
ブーンという雑音がでる。	本機をテレビのすぐそばに設置している。	本機をテレビから離して設置してください。	•
「ERROR！SPK DC OUT」が表示されて音が出ない	音量が大きすぎる。	電源を入れ直してから音量を下げてお使いください。 電源を入れ直しても「ERROR！ SPK DC OUT」が表示されるときは、 下の“「ERROR！」が表示されたら”をご覧ください。	•

• ⏻/|を押して電源を「入」にしたとき、MD部から動作音がします。これは、MD部へ電源を供給するための動作音で、故障ではありません。

本体のリセットについて

• **上記の処置をしても正しく動作しないときは**
本機は、マイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、**REC STARTと ⏏ CDを同時に押してリセットしてください。**

REC START　**同時に押す**　⏏ CD

または、電源プラグをコンセントから抜き5分程度待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

「ERROR！」が表示されたら

表示窓に「ERROR！」が表示されたときは、本機に故障が発生しています。電源を「切」にしてから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口に修理を依頼してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または100～101ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

98ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により
修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　-

★お願い
本機の故障または不具合などにより録音、再生およびCDまたはMDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)-638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

0501

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■MD/CDレシーバー（CA-NXMD1）

アンプ部

実用最大出力	20W+20W(EIAJ/ 4Ω)
入力端子	<アナログ> LINE×1系統 LEVEL 1：260mV/56kΩ LEVEL 2：640mV/56kΩ <デジタル> DIGITAL IN 光入力×1、 −23dBm〜−15dBm （光角型ジャック） （サンプリング周波数32kHz/ 44.1kHz/48kHzに対応） <その他> USB AUDIO ×1
出力端子	<アナログ> LINE×1系統、215mV/3.9kΩ スピーカー端子×1系統 適合インピーダンス4Ω〜16Ω ヘッドホン端子×1 適合インピーダンス16Ω〜1kΩ

チューナー部

受信周波数	FM ：76.00MHz〜108.00MHz AM ：531kHz〜1,629kHz
アンテナ	FM ：75Ω不平衡型 AM ：外部アンテナ端子 （ループアンテナ）

タイマー部

タイマー形式	1日2動作（DAILY、REC）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分
時刻表示	24時間表示

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音再生時間（ステレオ）	80分（SP） 160分（LP2） 320分（LP4）（MD-80使用）
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（**MD LP**）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

共通部

最大外形寸法	幅150mm×高さ237mm×奥行274mm
質量	約4.9kg

■スピーカー（SP-NXMD1）：1本当たり

スピーカー部

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用：11cm コーン型 ×1 中高音用：2cmソフトドーム型 ×1
最大入力	24W (JIS)
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	52Hz〜20kHz
出力音圧レベル	82 dB/W・m
最大外形寸法	幅125mm×高さ237mm×奥行235.5mm
質量	約2.3kg

■コンパクトコンポーネントMDシステム（NX-MD1）

総 合

電源電圧	AC100V(50Hz/60Hz 共用)
消費電力	電源 入（ON）時 53W 待機（STANDBY）時 1W （表示窓「消灯」）
最大外形寸法	幅400mm×高さ237mm×奥行274mm
質量	約9.5kg

付属品

- 電源コード 1
- AMループアンテナ 1
- FM簡易型アンテナ 1
- リモコン（RM-SNXMD1） 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） 2

- EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー

- CD レンズクリーナー ：CL-CDL
- MD レンズクリーナー ：CL-ML
- 整合器 ：VZ-71A
- RCA ピンコード ：CN-180G（長さ 1m）
- 光デジタルケーブル ：XN-110SA（長さ 1m）
- レコードプレーヤー ：AL-E350
- フォノイコライザー ：AC-S110J

- 別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

索　引

記号

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

お手入れ

本体が汚れてきたら柔らかい布でからぶきしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、後はからぶきしてください。

- **シンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
  他の洗剤等をお使いになるときは、その注意書きにしたがってください。**

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
100 ～ 101 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京 ☎(03) 5684-9311** 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 ☎(06) 6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎(027) 254-8952

0301TNMNATJEM